

	書名	読んだ人数	トータル	平均
61	幕末下級武士の絵日記	28	104	3.714286
62	大江戸曲者列伝 - 太平の巻	23	79	3.434783
63	幕末バトル・ロワイヤル - 井伊直弼の首	12	38	3.166667
64	こんにゃくの中の日本史	33	109	3.30303
65	日本奥地紀行	6	17	2.833333
66	英国人写真家の見た明治日本	3	9	3
67	明治の東京計画	15	50	3.333333
68	新版大東京案内 上・下	9	23	2.555556
69	小松崎茂昭和の東京	29	107	3.689655
70	真珠湾攻撃総隊長の回想 淵田美津雄自叙伝	4	12	3
71	木村伊兵衛と土門拳	15	54	3.6
72	ついこの間あった昔	20	69	3.45
73	千年、働いてきました―老舗企業大国ニッポン	21	86	4.095238
74	大相撲の経済学	23	84	3.652174
75	世界一の映画館と日本一のフランス料理店を山形県酒田につくった男はなぜ忘れ去られたのか	7	29	4.142857
76	そうだ、葉っぱを売ろう! - 過疎の町、どん底からの再生	26	112	4.307692
77	湿地転生の記 風景学の挑戦	4	11	2.75

幕末下級武士の絵日記

著者名	大岡敏昭	発行年	2007年
出版社名	相模書房	ページ数	189ページ
値段	1,400円	ISDN	978-4782407035

34歳、独身、ヒキコモリ。なのに、なんと楽しそうな日々の語らい。

本を読んででは酒を呑み、花御堂をつくっては酒を呑み、いつも家族や友人に囲まれて。

ほのぼのテイストの絵日記が、いちどだけ突如、荒れたタッチに変わる。まるで、日々やりすごしていた心の深淵がこの夜だけはぽっかり口を開けたかのように。184ページ必見！

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
ぜんまい	1-89、118-201	特に面白そう、と思った絵の周辺のみ読みました。 授業の時にも感じましたが、やはり全体的に幸福感漂う感じですね。 温かい人との触れ合いが素敵です。ヒキコモリなんてとんでもないぜ。
2008/08/15 14:08:22	173P (60分)	
鳩会社元社員	8-196	授業でのプレゼンが一番印象に残っている本だったので、改めて絵を見て文章を読み、この絵はあの時こんな風にプレゼンされていたなあと、日記の内容よりもむしろプレゼンのフィードバックをするような形で読んでみました。
2008/08/14 00:46:56	189P (90分)	

	8-18	そして他の人のプレゼンのうまさを、改めて感じました。
シマウマ	こまごまと40pほど	石さんはやっぱり癒し系です。あと石さんのその後も最後にちょこっと書かれています。
2008/08/12 21:06:00	40P (30分)	
	どこでも	
yossie	8-117	本書のまえがきにもあるように、江戸時代の武士の日常について絵を交えて詳しく触れているものは少なく、当時の様子をうかがい知るには本書はとても良いと思います。また、描かれている絵も愛嬌のあるものばかりで当人の性格が滲み出ています。特に興味を引いたのは、寺での生活の様子で、武士や町人などが和尚を交えて宴や寝食を共にするといった、今では考えられない使われ方をしている様子です。また、友人がふらっと訪れて濡れ縁で話をしたりご飯を食べたりする描写も当時の生活を生き生きと想像させてくれます。
2008/08/12 12:10:34	109P (100分)	
	8-89	
ksk	8-12	あまり読む時間がとれず冒頭で断念。。。
2008/08/11 14:56:50	5P (5分)	
アイを叫んだケモノ	50-90	武士のだらしなさ（それもかなりの）を知って、時代が変わってもこういう輩はいるのだとなぜか安心しました。ゆるい人の存在は周りを明るくしてくれるので重要。この本は濫読には適当な本だったと思います(流して読めました)。
2008/08/07 15:30:01	40P (40分)	
	20-30ページあたり	
エリカ様	1-201	あっという間に読み終えてしまったが心が洗われたような気がした。幕末の武士というと、時代劇によく出てくるような、血気盛んな男共が激しい生き方をしているというイメージだったが、こんなに人間味のあふれる生活をしていたんだと感じた。
2008/08/06 17:38:58	201P (90分)	
	全部！！	
男爵いも	1-18	ほのぼのとしていて読んでいてなごみます。想像していた武士の生活とは違っていて、ちょっと驚きました。
2008/08/06 15:52:39	18P (10分)	
ロマンチストの資格	1-22,163-201	江戸時代の武士のイメージが変わった。えばるでもなく、高楊枝でもなく、家族と友達と仲良く楽しく人情に厚く暮らしている。時代というのは、有名人よりも等身大の人物の生活を見ることでよく理解できるものかもしれない。
2008/07/22 18:10:16	61P (80分)	
しゅーくりーむ	1-201	のほほんとしたいときにこれ読んでいました 下手な漫画よりよっぽど面白い！ 石さんみたいな暮らしができたらなぁと思う限りですが あーおれ石さんみたいに絵を描いたりできないや ってか自分がこんな暮らしになったときに、 石さんみたいに毎日人との交流あるのかな？ あーないや、コミュ能力低いし。そのうちニートとかになりそう 自分には無理ですねw石さんその才能頂戴～♪
2008/07/19 11:32:06	201P (200分)	
ひさひさ	8-89	授業で取り上げられましたが、ほのぼのとした感じの本です。武士のイメージとはだいぶかけ離れてます。
2008/07/18 13:40:04	82P (50分)	
モンモンモン	1-18、193-201	授業で石さんの絵日記が取り上げられたので、最初とあとがきだけ読んでみた。 なんだか「Always 3丁目の夕日」みたいな人付き合いの深さが伝わってきた。
2008/07/18 12:33:53	27P (15分)	
ポンプUno	1-89、118-201	仕事はほどほどに、周りの友人達と食って飲んで騒いで。こういう生活に憧れます。
2008/07/13 04:08:17	173P (90分)	
じゃがいも	1-3,8-89	質素だけど宴会好きで勉強熱心な下級武士のほのぼのとした毎日。なんかサザエさん或いはちびまる子ちゃんといった感じで、ストーリーに大した進展はないけど面白い。そして絵がいい。下級武士さん副業にしているだけあって非常に絵が上手。 熱心に本を貸し借りして読んでいる姿がちょっとhistoriansっぽい。 184ページ迄到達できず。残念。
2008/07/10 09:10:23	85P (72分)	
	初めから読むべし	

結花	1-201	武士と言われて思い浮かぶのは刀、しかめっ面、国政の難しい話。しかしこの日記を読んでイメージは一転した。友人と会ったり、読書、食事、寺参り(といっても、おしゃべりや催しもの手伝いや食事を楽しむことが多い)など、今の時代でもごく普通の行動ばかりである。
2008/07/09 15:51:22	201P (120分)	娯楽が少ないせい、お金の大半を食事に費やし、友人と頻繁に会い、という生活は、華やかさはないが時間に追われずおおらかに暮らす彼らなりの幸せな生活が伺える。
	90-111	何より絵が豊富なので、彼らの生活ぶりをリアルに想像できるところが面白い。
hiro	23-51	授業で取り扱われた本なので少し読んでみました。
2008/07/01 15:03:05	29P (20分)	石さんのほのぼのとした生活の様子に癒されます。
	23-51	ただ、一見のんびり暮らしている人にもそれなりの苦労はあるんだなと思いました。
crystel	1-51 150-175	この本には今まで私が描いていた武士の生活とは異なるイメージが書かれていた。一分一秒を争うような現代のビジネスマンとは真逆の生活である。
2008/06/30 08:42:54	77P (45分)	武士の生活を表現した日記から、私がよく韓国に旅行した際にお世話になった家族を思い出させた。ご存知のとおり韓国は日本以上に儒教的な国であり、家族の中での父親の地位は非常に高い。その家族もまた典型的なスタイルの一つを表現しており、妻は朝早くから起きて食事の準備をし、お客が来れば接待をする。武士の日記にも、同じような光景を目にしたが、こういった慣習は私は好きでない。幸運にも私の家庭では父親が積極的に家事をこなしており、私も見習いたいと思う。
		ちなみに、本の内容とはまったく関係のない感想であるが。。。。
マーシャル	1-149	
2008/06/23 12:52:05	149P (120分)	授業で取り上げられた本なので読んでみました。仕事もせず、毎日のようにブラブラしている石さんの生活スタイルに本当に懂れます。
	52-89	
tormenta	163-175ページ	濫読に挑戦しようと思い、目次を見て面白そうだった「男女の関係」から読み出しましたが、選択ミスだったようです・・・
2008/06/20 17:48:38	13P (10分)	ハマることができませんでした。
		石さんに癒されようと思ったけれどあきらめます。
sugar	1-90	宴会風景、献立を読むのが楽しかったです。 今と比べてあぶらっこいものがほとんどないので、飲み会の翌日に胃もたれすることはなさそうだなあと 思いながら読んでいました。
2008/06/10 13:00:26	90P (60分)	しかし、江戸時代の食料品の高さにびっくり！ ・鱈 ￥ 1 1 2 0 (現代：ヒルマでいなだの切り身 2 切れ ￥ 2 0 0) ・わさび ￥ 3 2 0 (現代：チューブ入りなら ￥ 1 0 0 から) ・うと (?) ￥ 8 9 6 ・三つ葉 ￥ 7 6 8 (現代：ひと束 ￥ 9 8 前後 ← 訂正)
		いま食料品がこの値段になったら生きていけない...
すみただ	8-149	
2008/06/03 10:11:31	142P (250分)	「こち亀」の両さんの武士版みたいな印象を受けた。一回授業で触れた本だったので物語に入りやすく読みやすかった。古語で書いてある箇所は端折りましたが...。同じ展開が続くので少し飽きてくるかもしれませんが。
pato	23-52, 118-163	
2008/05/26 16:23:54	74P (60分)	がつがつした世の中につかれた人にはお勧めの一冊. 日々自由な石さんが羨ましく思える一方, 希望もなく, 限られたコミュニティの中で日々時間がすぎるのを待つつらさを感じた.
	23-52, 180前後	
のべ	1-201	今まで江戸時代以降の歴史は全然興味がなく、せいぜいろうに剣心を読む程度だったのですが、これはとても面白かったです。
2008/05/26 12:26:50	201P (180分)	社会の教科書とか資料集には載っていないこの時代の人々の生き方や考え方、生活などを垣間みれてよかったです。石さんの日記を見る限り、かなり自由気ままに生きているなあと、うらやましく思いました。
		後、お坊さんの見方が変わりました。お寺は厳格で、禁欲の中で修行を常に行っているようなイメージでしたが、石さんの友達の坊さんは酒は飲むし、女好きだしでびっくりしました。思っていた以上に人間的で親

	180-184	近感を覚えました。
みけもどき	1-51,118-201	この本が授業で紹介されたとき、石さんの自由な暮らしぶりを羨ましく思う反面、自分はこのような暮らしはしたくないと思っていました。実際読んでみると、幕末の人々の価値観が伝わってきて、石さんは（奔放に見えるけれど）筋の通った生き方をしていたことがわかりました。石さんのこと、少し見直しました。個人的には8、9章がオススメです。
2008/05/24 23:24:04	135P (100分)	
	176-188	
さわら	1-201	なんとも自由に生きてますね、この絵日記書いた人は。どんだけ友人と遊び呆けているのかと。身分の違う者とも仲良く飲んだりしているってのは、自分の認識を改めさせられましたが。大体単純にこんな暮らしをしてみたいと思いながら読みました。ただ、途中で軽く飽きました。
2008/05/23 15:54:34	201P (180分)	
メルハバ	1-18、118-201	授業で紹介されたあとだったのでサクッと読めました。一応引きこもり、という設定ですが、日記を見る限りではむしろ家にいる時間のほうが短いんじゃないかという奔放っぷり。宵越しの金は持たず、身分の差もなく飲みまくる当時の人々の姿は少しうらやましく感じました。日記自体は古文なので読みにくいですが、絵を見て、解説を見て、というスタイルでもかなり楽しめると思います。
2008/05/22 21:29:33	102P (60分)	
	150-161	
パトロン革命	1-51 118-149 176-201	とてもほのぼのとした雰囲気です。リラックスして読みました。江戸の武士についての作品は他にもいろいろとあり、幾つかを読みましたが、武士と一口に言っても階級が違えば生活がこうも違うものなんだ！と思いました。下級武士には下級武士なりの、つらさや楽しさがあるということも伝わってきました。特に日々の楽しみ方が、この作品では描かれていると思います。絵日記なので、視覚的にも捉えることができ、気楽に読めてオススメです。
2008/05/16 18:34:03	109P (60分)	
	176-181	
本多小松	1-201	江戸時代の忍藩下級武士の生活を描いた日記を解説した本。生活とその住まいを中心に描かれています。特に日記のせいか食生活は細かく当時の食生活が見えてきます。また、近所近隣との付き合いも事細かに書かれ付き合いの多さが多く見受けられます。食事に関してですが、肉料理は基本魚を中心にし鶏は特別な日に食べるといった傾向があるようでした。また、日常の食事には豆腐がよく登場し豆腐が生活に欠かせないものであり入手もたやすいものであったと考えられます。26Pあたりでは目黒とありますがさんまのことをさしているようです。これは落語にもありますが、将軍がさんまは目黒に限るといったことに由来しているのかとおもいます（日記の筆者も落語などに精通していたようですし）。また、宵越しのお金は持たない。といった江戸時代の江戸っ子らしさもみえます。今でいう数百円程度に困窮するときもあれば、一万円を超える食事もあるということもしています。日記の作者は結婚していないらしく、ところどころに女の人が出てきますが、やはり結婚も気にしていたのではないかなと思わせます。ほかにもありますが気になる方は読んで見られるとよいかと。日記本文は読みにくいですが、解説だけではとれない部分もあるので読むことをお勧めします。
2008/04/25 09:07:30	201P (260分)	
	26-38	

大江戸曲者列伝 - 太平の巻

著者名	野口武彦	発行年	2006年
出版社名	新潮新書	ページ数	255ページ
値段	720円	ISDN	978-4106101526

クセモノだ、出会え出会え～！

「わらわへの直答はならぬ」と御奉行様にそっぽを向いて御白洲に座る自称日野家のお姫さま、天狗に乗って幽界へ行ってきたよと大得意で語る寅吉少年——泰平の世を思うがまま破天荒に生き抜いた、おもしろおかしい面々。

さてあなたは、どなたとお友達になりたい/なりたくないでしょうか？

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
goran	1-248	戦の話でもなく、ロマンティックな話でもなく、怪談でもなく、面白おかしいフィクションでもなく、文献をもとに江戸時代の出来事の裏話を書いた本。 個人的にこういう実はあの事件の裏ではとか、あの有名な人も裏では。。。という話は
2008/08/18 23:44:18	248P (240分)	

	男女のゴシップについて書いてある箇所	好き。 やはり人の陰の部分というのは面白い。
パトレーゼ	8-10,12-17,48-79	タイトルは本文の内容を的確に短くまとめたもののはずだから、面白い文章の目次は面白いし、つまらない文章のはつまらない・・・という様にはなかなかならないものらしいですね。この本で一番面白いのは各章のタイトルがずらりと居並ぶ目次ですが、本文はというと、そのテンションに追いついている内容のものはなかなかありませんでした。
2008/08/14 17:31:27	41P (15分)	
		沢山読んだわけではないけれど、「内匠頭を抱きとめた男」という章が、正史を横から眺めてみるようなところがあって面白かったです。
contax139	122-132	もくじの見出しで読む場所を決めて呼んでみました。
2008/08/13 14:27:23	10P (20分)	歴史上の人物に親近感が湧いた一冊でした。
	122-126	そして、いつの時代も人は同じようなことで悩んでいるのだと。
SEM	3-255	ただ歴史の筋を追っていくのではなく、少し横道にそれるような話が中心となっているので楽しく読めました。この人の書いたもう1冊の本（幕末バトル・ロワイヤル）より面白かったと思います。
2008/08/11 18:24:54	253P (200分)	
男爵いも	63-69	短いエピソードがたくさんあるのでつまみ食いをするには最適。
2008/08/07 11:19:48	7P (5分)	読んだのは1話だけだが、内容も面白かった。
のべ	1-106、143-164	いつの時代も、週刊誌に載るようなネタは好きなんだなーと実感。
2008/07/24 17:52:49	128P (100分)	作者の書き方も絶妙でおもしろかったです。
	143-148	また、1章が短いのでつまみ読みしやすいと思います。
つけめん	全部	週刊誌のノリ！
2008/07/22 15:26:47	255P (180分)	シモネタは全時代共通だな。
	ショートストーリー最高。	御用だ御用だ
pocky	1-255	江戸時代の人々は様々な人間性があって読んでいて楽しかったです。特に新井白石の器の大きさに尊敬です。
2008/07/20 15:15:35	255P (120分)	
	63-69	
は る ゆ き	1-111	江戸時代の個性的な人について書かれた本。
2008/07/15 10:20:55	110P (80分)	ショートストーリーのため読みやすく、文体も非常にかんたんなので、暇な時間に読むのにちょうど良い。
	40	
白猫	3-116	江戸時代の変わり者について書かれた書籍。短編のタイトルをみて、気になったところを読んでいけると面白い。
2008/07/13 09:45:33	112P (120分)	疲れてるときに読むと、ああ、みんな苦労してるんだなぁと慰められる
石川です。	1-152	世直し大明神
2008/06/27 20:02:15	152P (300分)	武士が神様になっちゃったのは驚きでした。
	86-91	一話完結なので、タイトルでおもしろそうなのだけ読むのがいいと思いますね。
mizuhara	3-42	ショートストーリーで読みやすいと思います。
2008/06/23 16:54:41	40P (30分)	でも、自分くらい歴史が全然分らないと、知らない人がたくさんでてきて困ります。

本多小松	3-135	話が細かく区切られ非常に読みやすく、あいてるちょっとした時間に読むのもいいかと思います。話の内容は江戸のスキャンダラスな話で、恋・猟奇などなど。役人から町人まで幅広く取り扱っています。
2008/06/17 12:27:02	133P (120分)	
マーシャル	1-111	江戸時代に生きた人々のエピソードが短くまとめられていて、ちょっとした空き時間に読むのに最適です。学校の授業では教えてもらえない歴史を知れて面白いです。
2008/06/16 18:13:32	111P (120分)	
	12-48	
さわら	1-27, 53-69, 74-86, 91-96, 186-191, 238-243	名前を知っている人物が何人も出てくるので読みやすいと思います。昔歴史で習った、名前と功績だけを知っている人物が、この本の中では人間らしく描かれています。高校までの授業で習う歴史は好きじゃないけど、こういうのは好きです。
2008/06/10 11:16:56	75P (45分)	
	63-69	
鳩会社元社員	22-53.63-84,91-127,148-202,218-228,238-243	個人的には新井白石のところが面白かった。江戸時代の人物45人についてそれぞれ約5ページ程度の短い話が書かれた本です。自分もそうでしたが、いままで、続きが気になって実際に濫読できない人にお勧めです。まずは目次を見て、気になったタイトル、あるいは人物の話を読んでみるといった感じで、人それぞれ立ち読みポイントは異なると思います。
2008/06/03 00:21:12	163P (90分)	
	まずは目次を見て、そこから好きな所へ	
じゃがいも	1-90	正史のスキマを読む，ゴシップ史観！非常に人間臭くて面白い．性欲がからむと特に面白い．戦国や幕末が好きな人にはついて行けないが，おそらく歴史の中に人間味を見る楽しさを知ってる人たちなのだろう．僕は英雄には特に魅力を感じないがこの本に出てくる人たちならば興味を持って読めた．
2008/05/30 18:07:55	90P (60分)	
ひさひさ	3-180	江戸時代の個性的な人々について書かれた本です．飽きることなくサクサク読める本だと思います．
2008/05/28 14:20:02	178P (90分)	
ジョコビッチ	1-248	ショートストーリーの連続で、非常に読みやすかった。通学の電車の中で読んだ。歴史があまり好きでない人も、楽しめると思う。イチオシの本。
2008/05/15 17:54:25	248P (100分)	
パトロン革命	1-248	人物ごとのショートストーリー構成なのでとても読みやすかったです。最初は人物ごとに各トピックを飛び飛びで読んでいましたが、あまりにもおもしろかったので、全部読んでしまいました。おススメは立ち読みポイントにも書いたとおり、勝海舟の父親にまつわるお話です。肝っ玉父さんぶりが伝わってきて、また全体的に言えることですが、文章の流れもスムーズで読みやすく、思った以上にスッと頭に入ってきました。表現もある程度
2008/05/12 22:31:46	248P (90分)	

	169-174	柔らかいので、えげつないのが嫌いな方には最適かと思われます。
メルハバ	3-248	江戸時代の奇人、変人を集めた短編集。1人辺りのページ数が5Pくらいなので読みたい人のところだけ読むのがいいと思います。他の江戸ものの本を読んだ後だと同じ人が出てきたりで「おっ！」と思いました。ただ変な人を紹介するだけでなく、忠臣蔵など歴史の背景もちゃんと分かるのが良かったです。現代に勝るとも劣らぬ変人が勢ぞろいでなかなか面白い一冊でした。
2008/05/10 13:56:56	246P (120分)	
	186-191	
シマウマ	こまごまと50P	
2008/05/07 19:24:05	50P (60分)	江戸時代のいろいろな人のちょっと変わったエピソードを5ページぐらいにまとめた短編集です。個人的に日本史が好きでないので評価が低いですが、手軽に読めるのはよいと思います。
	101 ~ 105	
特になし	12-111	短編がいくつもといった感じなので細切れで読んだりするのに最適です。なにげに江戸時代の歴史にも詳しくなれたりもします。短編ごとのタイトルが過激ですが（ex.スカトロ宴会）そこまで文の書き方は汚く無いので紳士淑女にもお勧め。
2008/04/24 12:49:13	100P (100分)	
	27-31	

[TOPへ](#)

幕末バトル・ロワイヤル - 井伊直弼の首

著者名	野口武彦	発行年	2008年
出版社名	新潮新書	ページ数	251ページ
値段	720円	ISDN	978-4106102523

幕末という天地がひっくり返る大騒動の中で、大まじめに、あるいは、あたふたと、はたまた、ちゃっかりと、いろんなふう生き抜いていった人びとをくるりくるりと巡りつつ、焦点は大老のお首へ。つまみぐいして良し、通読して良し、のすぐれもの。

人だけでなく、開国することでてんやわんやとなった経済のお話も、ちょこちょこ顔を出してくれる。歴史好きの上司やお得意さんに、あいづち打つための予備知識ゲットにも好適。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
goran	1-20	冒頭を読んでみたが、なんか真面目な話だったので、とりあえず保留に。。。個人について書いた本よりも小話の方が面白いかも。
2008/08/18 23:52:13	20P (10分)	
さわら	1-20, 173-183	一見読みにくそうだと思ったが、意外とそうでもなかった。とりあえず始めのほうと、井伊直弼の祭最後くらいは読んでおこうと読んでみました。

2008/08/13 19:20:07	31P (40分)	このあたりの歴史は個人的にも好きなので、もっと時間をかけて読みたかった。
	173-178	
男爵いも	1-126	最初見た時は漢字が多くて拒否反応が出たのだが、実際に読んでみると以外に読みやすかった。 ただ、ある程度この時代についての知識がないとわかりにくいかも。
2008/08/07 12:32:25	126P (80分)	
		完璧に冊数稼ぎのために手に取られた一冊。 ひじで物を撫でるような読み方をしてしまった一冊。 本質に触れることなく終わった一冊。
つけめん	236-251	
2008/07/22 15:42:22	16P (10分)	野口武彦さんごめんなさい。 妥協した俺、反省。
	年表	
は る ゆ き	1-126	幕末の日本を描いた本。 章ごとに分かれているのは分かりやすいが、江戸の知識が無いと、読めない人名があったりと少し読みづらいかも。 日本史が苦手な自分には少し難しかったです。
2008/07/22 12:37:42	126P (120分)	
	111-116	
pocky	1-251	今回江戸後期の作品を初めて読みましたが、やはり幕末の時代は混乱しているなど感じました。当時の権力者であった井伊直弼が襲撃され惨殺された後の幕府の対応を考えてみると倒幕された理由が分かった気がします。
2008/07/20 15:04:40	251P (120分)	
	173-183	
contax139	1-126	トピックごとに書かれているので、ひろい読みに最適です。 その１３ 江戸大風水害＞江戸の街は大火だけではなく津波や台風によっても塗り替えられていたことが書かれている。しかもそれが、市民だけではなく外交問題にも影響していく。 その１８ 日米交渉＞どの港を開港をするか。 どのようにして決定されたのかが、日米両者の立場が詳しく描かれている。
2008/07/15 15:45:47	126P (90分)	年表だけでは語りきれない。外交のかけひきが描かれているのが楽しめた。 また、幕末期の外交では、国外だけを見るのではなく、国内の動き、将軍家、朝廷、様々な立場の思惑を知り、巧みな政策（時に有効的な賄賂）を用いて、日本の開国は行われていったことがわかった。
	55-60, 96-101	今の日本では、外交政策そのものがいかに世の中を動かすのかという事自体あまり感じない。もちろん当時の江戸の一般民衆だって開国に関してはそうだったに違いない。けれども、私達は幕末の外交政策を歴史を通して知っている。今と照らし合わせる事ができる点で江戸の一般民衆とは違うはずなのだが、、、。 歴史ものながら、今の日本政府のことを思い出してしまった１冊でした。
白猫	1-142	米国のハリスと幕府のやりとりが面白い。 特に、ハリスは日本で孤立の状態で、よく交渉したなぁというのが伝わってくる。
2008/06/24 10:06:04	142P (180分)	
	86-106	逆に幕府は対外的な政策と、国内のこと両方を考えなければいけなかったのも、ハリスのように対外政策のみに集中できなかったのだろう。
ジョコビッチ	1-252	日本史が好きな自分にとっては、非常に読みやすく、興味深い話が多かった。 こんにゃくの中の日本史も読んでいたので、少し幕末に詳しくなった気がした。
2008/06/16 14:57:54	252P (120分)	
		残酷なのがあんなにダメだった自分がこの本を手にとったのが不思議でなりませんが、タイトルほどの衝撃はありませんでした。 しかし江戸を語るにはなくてはならないキーパーソンであることは間違いなくと思います。江戸ものを何冊か読んだし、ちょっとコアな話も・・・と考えている方にはおススメです！
パトロン革命	1-45,55-86,111-116,163-183	
2008/05/22 21:34:40	104P (80分)	黒船来航という外患に加えて大地震、大雨、疫病といった内憂と
	173-176	
SEM	10-234	

2008/05/07 10:18:56	225P (210分)	いう状況下で幕府は権力争いなどでなかなかまとまらない。確かに幕末という時代は現代の日本に似ているところあるかもしれないと感じました。
	173-183	
knennn	121-192、218-234	幕末期の動乱の中、江戸幕府のあいまいな態度をみていると日本は昔から変わってないなと思います。章立ても細かく読みやすいですが幕末に関する知識がないととっつきづらいかも。
2008/05/07 09:44:53	89P (60分)	
	179-183	

[TOP](#)へ

こんにゃくの中の日本史

著者名	武内孝夫	発行年	2006年
出版社名	講談社 現代新書	ページ数	199ページ
値段	700円	ISDN	978-4061498334

なぜに、こんにゃく!? これがなかなかに侮りがたい。粉にして練って固めて.....めちゃめちゃ手間のかかる、こんなミョーなものをなぜ日本人は食べようと思ったのか。幕末の常陸の国から出発したこんにゃく作りが、戦後、群馬県で大繁盛することとなった裏には、東京という都市の復興計画があった、など「へえ～」がつぎつぎ、しらたきの如くたぐり寄せられる。

作柄が不安定で、かつ「荒粉（あらこ）」という保存性のある形態に加工するため、生産者が投機に走り「こんにゃくはおもしれえ」となってこんにゃく産業が活性化したとか。ふうん。経済学の生きた実践例としても、しっかり読める。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
ミソカツ	3-49、115-150	「ギャップ萌え」という言葉をご存知でしょうか。普段は全然なのにたまの姿にはっとさせられる、あれである。 今回のこんにゃくはまさに、ギャップ萌えである。

2008/08/17 05:41:59	83P (45分)	あのこんにゃくが軍事兵器「風船爆弾」と姿を変え、国民や軍人をやきもきさせたなんて驚かされる。 でもやはりこんにゃく。 爆弾になったところで野暮ったさや人懐っこさを感じてしまうのである。
	123-126	
ミソカツ	3-49、115-150	「ギャップ萌え」という言葉をご存知であろうか。 普段は全然なのにたまの姿にはっとさせられるあれである。 今回のこんにゃくはまさにギャップ萌えである。
2008/08/17 05:41:18	83P (45分)	あのこんにゃくが軍事兵器「風船爆弾」と姿を変え、国民や軍人をやきもきさせたなんて驚かされる。 でもやはりこんにゃく。 爆弾になったところで野暮ったさや人懐っこさを感じてしまうのである。
	123-126	
わくわくさん	1-100	非常に複雑な製法である「こんにゃく」が一体どうやって生まれたかに興味があったので読んでみた。
2008/08/17 04:56:15	100P (60分)	製法はもちろんのこと、こんにゃくをめぐる様々な歴史について描かれていておもしろかった。中でも兵器として使われていたとは驚いた。
みずち	3-203	料理の中では脇役なこんにゃく、昔は大活躍だったんですねえ。塩の話とセットで読むと面白さ倍増かも。それにしても爆弾で・・・
2008/08/16 12:15:48	200P (120分)	
SBM	178-201	機械化の波の中でこんにゃく芋農家も大変なんですね。
2008/08/15 14:33:57	24P (45分)	確かにスーパーに並んでるのを見ると安過ぎて儲けにならないのもわかります。
さわら	1-203	他の人も書いてますが。 風船爆弾とはまたすごいですね。
2008/08/13 19:06:43	203P (300分)	一般的に気球に使われるゴムよりも性能がよかった、というのには驚かされた。 金がないから・・・じゃなかったんですね。 あ、こんにゃくは好きです。
	118-129	
鱒鮭	3-15	プロローグだけでもそその内容。
2008/08/12 15:48:12	13P (5分)	こんにゃくではしらたきが好きです(´ω`)
エリカ様	3-203	蒔蓄とか雑学とかいった話でかなり使える面白い話が満載だった。
2008/08/06 17:11:47	200P (140分)	こんにゃくが食べたくなりました。
男爵いも	1-129	こんにゃくについていろんな話を書いてあり、こんにゃくについてしりたいなら是非読むべし。
2008/08/05 04:49:39	36P (30分)	しかし、まさかあのこんにゃくが兵器利用されていたとは。
	116-129	
pato	116-129,	
2008/08/01 22:15:18	14P (30分)	風船爆弾。こんにゃくがまさか兵器になるとは...
	116-119	
しゅーくりーむ	3-203	粉こんにゃくって皆さん聞いたことがありますか？自分は知らなかったのですが、これが昔々は結構なお金になったという。これがかの有名な桜田門外の変の資金源になったのですよ
2008/07/29 03:42:58	201P (120分)	というような面白いエピソードがいっぱい これがきっかけで、暇なときにこんにゃくを検索している自分がいる
pocky	115-133	
2008/07/22 17:17:29	19P (2分)	こんにゃくが兵器の材料として使われたのには驚きました。
	115-133	
つけめん	19-51	
2008/07/22 15:52:33	33P (50分)	どちらかといえばこんにゃくよりところてん派の私は星２つ。
sugar	3-206	ぷるぷるして歯ごたえのある食べ物が大好きです。 タピオカもナタデココも大好きです。

2008/07/17 01:58:07	203P (120分)	もちろんこんにゃくも大好きです。
	115-150	そんな愛すべきこんにゃくがいかにして生まれたのか。こんにゃくの隠れた実力とはいかなるものなのか。筆者のこんにゃくへの愛がみっしりと詰まった一冊でした。新書なので薄くて軽くて手に取りやすくてよかったです。
crystel	3-15	とりあえず全体をパラパラ読んでみたが、ひたすらこんにゃくについて語っていた。題名からして笑える。ぜひ合コンネタに使いたい。
2008/07/16 22:10:09	13P (5分)	
tormenta	3-15ページ	あまり興味がわからなかったので、とりあえずエピローグだけ読んでみました。
2008/07/14 16:19:41	13P (5分)	こんにゃくだけでこれほどに語ることができるのか・・・というほど、こんにゃくについて詳しく熱く語られていました。
	なし	でも、「濫読」の意味もこめて、エピローグだけで終わりにしておきます・・・。
パトロン革命	3-203	外見は薄いけれどもかなり濃い内容でした。まさかこんにゃくが兵器に使われたなんて思いもしませんでした。歴史をたどっているので資料や人物の話に頼りながら作られた作品であることは間違いありませんが、想像以上に話の幅が広くて驚きました。政治・経済・医学など、本当に多岐に渡る内容で本当に面白かったです。これを読めばこんにゃく好きになれるかも！？
2008/07/11 13:03:40	201P (150分)	
	100-104	
メルハバ	3-49、116-203	普段めったにスポットライトを浴びることの無いこんにゃく。そんなこんにゃくがこの本の主役。
2008/07/08 20:16:11	135P (90分)	こんにゃくなんで味がない上に栄養も無い（実際は少しあるらしいけど）、なんてイメージしかないけれど、この本を読めばザクザク出てくるこんにゃくの武勇伝。食べるだけじゃなくて爆弾やペニシリンの開発、さらにはマネーゲームの対象なんかにもなってます。これだけあるとこんにゃくもなかなか味なやつだなあ、なんて思えました。
	3-15	今夜はこんにゃく（できれば群馬県産）でも食べようか。
モンモンモン	1-73	蒟蒻って料理の脇役にしかないのに、手間がかかるもんなんですね。しかも、あまり栄養が無いと知ってちょっとがっかり。
2008/07/07 22:40:50	73P (60分)	そんな蒟蒻作りに革命をもたらした人物の話からスタート。さらに、こんにゃく作りで有力になった農家が桜田門の変に関与してた、みたいな話も。
		ちょっと変わった視点から歴史を見ています。
すみただ	20-201	「こんにゃく＝肉じゃがの一構成要素」といった現在のイメージからは乖離した、戦時中のこんにゃくの使われ方に驚いた。重要な軍需品であり、その需要は高く、こんにゃく爆弾の質の高さはアメリカをもうならせたこと、など。とにかく、こんにゃくに関する雑学？を知ることができます。筆者的には、資源に乏しかった日本において発揮された日本人の知恵や創意工夫というものの大切さを暗に示唆しているのかも。
2008/06/29 07:59:33	182P (200分)	
	118-120	
じゃがいも	3-49,202,203	こんにゃく割りと好きですが地味ですよ。そんなこんにゃくから歴史を見るとなかなか面白い、らしい。ハイライトに入る前に時間切れ。ただ、プロローグを読んだだけでも大体のことは分かった。こんにゃく芋を粉にするということが大発明だった、大幅な軽量化により輸送の便が改善されただけでなく、当時都市では浸透してきた貨幣経済を農村にも持ち込めたのだ。その結果水戸藩の財政難を救い、その後の幕末の歴史にも一枚かんでる？うーん、そんなに続きが気にならないのは何故だろう。農村に貨幣経済、のくだりて僕の中では「なるほど、いいこと知ったなあ」お腹いっぱいになった。続きは読まなくていいや。まさに濫読。
2008/06/24 12:57:37	49P (50分)	
	3-15	
P-ball	1-15 , 177-201	「こんにゃくの神様」と崇められている人物が江戸時代に実在して、「こんにゃく信仰」なるものが存在していることに甚く驚きを覚えました。
2008/06/24 10:29:06	40P (20分)	また、当時こんにゃくで賑わった農村が、今日荒廃のいろを

	10-15	見せているという現状がなんとも寂しいものだと思います。
マーシャル	3-203	こんにゃくの作り方に始まり、こんにゃくが歴史に与えた影響を解説している。桜田門外の変の襲撃グループには、こんにゃく豪農のスポンサーがいた、太平洋戦争中にアメリカを慌てさせた風船爆弾にこんにゃくが使われていたなど、ちょっと変わった視点から歴史を見ていて面白い。
2008/06/18 13:12:33	201P (120分)	
	51-73	
かごしま	3-15、115-150、177-205ページ	「こんにゃく料理」と言ったとき、何を思い出しますか？ 肉じゃがとかおでんですかね？ こんにゃくという食べ物は、日本人なら誰でも知っている有名な食材 なのにもかかわらず、決して主役にはなりえない、非常に存在感の薄い食べ物です。
2008/06/12 20:20:32	78P (60分)	この本では、そんな「日陰者」のこんにゃくにも、歴史を紐解くと おもしろい事実があるのだということを紹介しています。
	第6章	章ごとに話が完結しており、かつ文章も平易でわかりやすいので、濫読にはお勧めです。 オススメは第6章です。 機械化によって、逆に生産者たちが活気を失っていく様子が切ないです。
contax139	52-150	今でこそ食用のこんにゃく。その工業製品としての利用や戦争中はこんにゃく爆弾として立派な兵器になっていたこと。
2008/06/10 12:21:53	98P (120分)	こんにゃく史を見れば日本史がわかる！？とまではいかないが、蒟蒻ゼリーを食べるときの意識は変わるであろう一冊。
	85-97,123-129	あの食感は今も昔もお墨付きだったのだということがわかる。
ジョコビッチ	3-203	今まで何気なく食べていたこんにゃくの歴史がわかった。
2008/05/27 14:56:17	201P (180分)	桜田門外の変とこんにゃくの関係、風船爆弾にこんにゃくが使われていたことなど、へえ、と思う部分が多かった。
ジョコビッチ	3-203	今まで何気なく食べていたこんにゃくの歴史がわかった。
2008/05/27 12:52:54	201P (180分)	桜田門外の変とこんにゃくの関係、風船爆弾にこんにゃくが使われていたことなど、へえ、と思う部分が多かった。
ぜんまい	3-203	こんにゃくってあんなに価格変動が激しいものだったのか・・・
2008/05/20 12:48:23	201P (240分)	なかなか興味深い気がしましたが、自分はこんにゃくにあんまり馴染みがないなあとも痛感しました。
	3ページ	書き方にものすごくのほほんとした雰囲気漂ってます。独り言のような。
Www	1-50	こんにゃくを通して日本の歴史を語っていくかと思いきや、ほとんどこんにゃくの話しか出てこない。
2008/05/12 20:00:22	50P (60分)	これでは「こんにゃくの歴史」のタイトルのほうがふさわしいのではないかと ただこんにゃくの歴史が浅く、最近浸透してきたという事実には驚かされた。
	1-10	あ～刺身こんにゃく食べたい。。。
SEM	3-203	食事のメニューに入っているけどあまり目立つことのないこんにゃくがまさか江戸後期以降の日本の歴史に大きく影響を与えていたとは驚きでした。
2008/05/12 14:04:51	201P (180分)	
	115-150	
本多小松	3-203	こんにゃくを普及させるために粉にすることができたことは今日にこんにゃくが簡単に食卓にあげることができている点においても、素晴らしい発見であったと思う。また、歴史の中でたびたび訪れる需要の中で投機の対象になっていたとは興味深いもので、大豆や小麦と同様にされていたのは知らな

2008/05/08 16:54:44	201P (170分)	かった。風船爆弾についてはアメリカ側が対策に巨額費用を投じていた点においては記述されていないが、その点でこの作戦は特に成功したといえるのではないだろうかと付け加えておく。
ivane	3-15,52-73,116-150ページ	これを読んでも、特にこんにゃくを食べようとは思いませんでした。が、こんにゃくと風船爆弾の部分は面白かった。
2008/05/07 12:48:41	67P (40分)	
	125-126ページ	こんにゃくで紐解く日本の歴史、というテーマは面白い。しかし、著者のユーモアセンスのなさにテンションが下がる。
camel	3-85,118-150,198-201	
2008/04/30 12:49:20	130P (90分)	
	118-122	

[TOPへ](#)

日本奥地紀行

著者名	イザベラ・バード	発行年	年
出版社名	平凡社ライブラリ	ページ数	298ページ
値段	1,500円	ISDN	978-4582763294

明治の日本を訪れた欧米からの訪問者のなかで、観察眼の鋭さも記した情報の量も、紛れもなくダントツトップの英国レディ。

初来日時に47歳。従者ひとりを連れただけで、馬に乗ってとことことこと、日光・新潟・青森から果ては北海道のアイヌまで。どこもかしこも好奇心たっぷりに覗き込んで、しっかり記録やスケッチを残してくれたので、今や130年前の日本の「田舎」を知るための大恩人です。

とても分厚いので、つまみぐいでどうぞ。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
エリカ様	1-428	タイトルだけ見て日本人のどこかのおじさんが旅に出たとか言う話だと決め込んで読んでしまったため、主人公が外国人女性であることに驚いてしまった。

2008/08/06 17:34:07	428P (330分)	正確な地名や描写に現在と比較するのも興味深かった。極貧の村の様子や、温泉宿の話、鉄道に下駄を履いて乗る日本人の足音がすごかった話などさくさく読み進めてしまった。また、いろはにほへの解説や神社の鳥居の由来など実に細かいことまで書かれていた。
crystal	22-31	日本にはじめて来た外人が日本を描写している様子を読むと、子供のころの記憶を思い出したりする。たとえば、富士山に対する描写なんかを読むと、幼稚園のころ遠くを見て、そこに富士山があったときに感じた感動なんかを思い出した。
2008/07/17 21:50:28	10P (10分)	
SOUTHERN (° 4°)!	1-31	みなさんの言う通り、「外国人女性」っていうところがポイントですね 分厚いし途中であきらめるのもなんだったんで、序盤で僕は降板しましたが。
2008/07/11 11:38:38	31P (20分)	
	1-31	日本の奥地に旅に行く主人公が、外国人女性なのが驚きでした。すごい行動力です。でもなぜか、頭の中に文章が入っていかなかったの、途中でやめました。
ひさひさ	17-82ページ	
2008/06/14 00:53:00	66P (80分)	まず、あの時代に日本の奥地を旅するパワフルな英国人女性がいたことに驚きです。旅行者の視点で明治時代の日本を細かく描写しており、当時の雰囲気がよく伝わっています。彼女は文明人として日本を旅していますが、アイヌの人々や日本の人々の生活のよいところは理解してたような気がします。
knennn	17 - 42,96-137,345-402	
2008/06/10 19:53:09	136P (100分)	イザベラ・バードの視点で、日本の生活をザクザク斬っている。自分の価値観にあわない事柄は、きっぱりと「野蛮だ。」とか「劣っている。」とか言い切っていて、日本人の私としては、なんとなく面白くない。 バード女史の口調は、ともかくとして、当時の日本人のリアルな生活ぶりを知ることができるのは確か。
のり子	403-428	
2008/05/02 15:10:15	26P (30分)	

[TOPへ](#)

英国人写真家の見た明治日本

著者名	ハーバード・G・ ポンティング	発行年	1988年
出版社名	講談社学術文庫	ページ数	312ページ
値段	1,100円	ISDN	978-4061597105

異文化の眼だから、そして写真家の眼だから、100年前の日本の姿をありありと映し出す。そのあたたかな視線がフジヤマのような「風景」だけでなく、ゲイシャのような「人」にまでしっかり届いているのがうれしい。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
みけもどき	81-111,236-276	写真は白黒なんですけど、それがまた味があります。 個人的には、日本の女性について描写した部分が暖かくて好きです。（若干褒めすぎ！？） 筆者は先入観なしに日本を見ようとしていたのが伝わってきました。
2008/06/04 12:31:35	70P (60分)	
	写真	
ロマンチストの資格	1-34	明治の日本、という歴史の上で語られる時代が、写真を通してみることで「現実なんだ」と感じる。
2008/05/07 12:44:33	34P (20分)	若干技巧的な撮り味ではあるが美しい写真を見つつ、あまり巧く

	写真のページ	ない文章を読みながら、明治日本という東洋の美を捉えた西洋人の視点を感じて欲しい。
石川です。	1-37ページ、283-287ページ	写真だけでもパラパラっと見てみると、ほとんどの写真に日本人が写っています。そこで、気になった写真のところだけ読んでみると、その描写もとても繊細です。
2008/04/23 01:49:00	42P (30分)	
	写真だけでもどうぞ。	

[TOPへ](#)

明治の東京計画

著者名	藤森照信	発行年	1982年
出版社名	岩波現代文庫	ページ数	382ページ
値段	1,200円	ISDN	978-4006001339

「このまま崩れてしまうのだろうか」が冒頭のじつに印象深い一行。
御一新で雑草だらけの田舎に帰するはずだった江戸を煉瓦の街へ、さらに「帝都」へと転生させた先駆者たち。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
つばき	1-382	これをドクターで書きちゃうフジモリさん、かなりすごいと思います。 情報の量と文章のうまさに脱帽です。。。
2008/08/18 21:50:58	382P (140分)	
わくわくさん	1-200	オスマンのパリ改造など、近代の大規模な都市の改革は現在の都市の姿に大きな影響を与えている。そして、明治時代は銀座煉瓦街を始めとして、欧米の建築様式を取り入れようとした、日本の都市計画史の中でも注目すべき時代である。 明治の構想において、実現したもの、実現し得なかったものについて知ることができ、興味深かった。
2008/08/17 05:03:39	200P (120分)	

contax139	1-95,386-422	銀座の歴史とも言える煉瓦街の形成の話がおもしろい。国内外両方向を見ていた政府の役人達の業績が個々の人柄も含めて描かれている。 今のお役所のイメージとはかけ離れた明治のお役人達の熱いお話でした。
2008/08/13 14:40:21	131P (100分)	
	51-55	
エリカ様	1-420	明治維新とともに江戸から東京へと徐々に姿を変えていく町の姿が手に取るように浮かんた。 市民の夢とか営為とかいろいろなものが交錯していてなかなか面白いなと思った。
2008/08/06 17:29:23	420P (300分)	
	図のところ	
まるきん	1-21	京都が中心となっていた幕末維新において、江戸　東京への変貌を追っている本 単に鉄道引いて洋館立てて東京ができたとはばかり思っていたので、こんなにかんがえていたのかと目から鱗だった。
2008/08/05 12:13:41	21P (30分)	
	15	
pato	97-99、139-174	明治における都市計画の話。 地下の隠しトンネル的な話を期待したが...
2008/08/01 21:58:38	39P (30分)	
	139-147	
みけもどき	1-55	江戸を東京へ作り替えていくお話です。 日本と西洋の風土の違いや経済状況などをあまり考えずに、ほぼ勢いだけで銀座の煉瓦街を作り上げたように見えたが、明治の東京計画にかかわった人々の意気込みが感じられました。
2008/07/30 11:58:10	55P (50分)	
	図版	
honyalala	1-55 386-420	明治の東京計画。広く知れ渡っている銀座の煉瓦街計画、この煉瓦造りの建築は誰の発意かは明白でないことに驚愕を覚えた。予測はついてはいるが、定かではないらしい。大火を経験した銀座で新たな計画が、煉瓦での耐火策ではなく、蔵づくりでの耐火策であったならば、今頃こういった印象であったか。現在も、明治のと都市計画及び建築などの当時の文化が想い返され、その復元・復活が実施されていることも鑑みると、明治の魅力とその発端は気になる。本書はそんな興味を一つ満たしてくれる一冊であった。
2008/07/22 02:32:57	89P (30分)	
	終わりの図版ページ	
yossie	1-342	「東京」が「江戸」をどのように乗り越えていったのか。明治の近代化を境にして、日本の社会と空間が大きく変化したことは様々な本や論文として出ているが、その近代化の最中に暗中模索した人々の様子が描かれていて、当時の様子をうかがい知る事ができる。 江戸の地図を頼りに、まちを計画してみろという授業の中で、実際にはどのように計画されていったのかという事が気になっていたので、本書はとても面白かったです。
2008/07/10 10:38:04	342P (600分)	
	1-55、286-326、327-342ページ	
ODN	1-28ページ	このページのトップにも書かれてあるように「このまま崩れてしまうのだろうか」という一文が印象的で読み進めたが、よくわからない漢字が多く文章もぎっしりしているのですぐやめてしまいました。 巻末の図だけばらばら見ていくのは楽しかったです。
2008/06/24 21:10:37	28P (30分)	
	巻末の図	
人生迷走中	1-55ページ	明治当時の銀座の和洋入り混じった様子を思い浮かべると、楽しかった。
2008/06/10 12:17:02	55P (50分)	
SBM	1-55	当時の人達（主に都市計画に携わった人々）の様子をドラマチックに追っている。 当時のままの文書などを多用しているので古文・漢文が嫌いな人にはちょっと辛いかもしれないです。 巻末についている間取り図などは文章が苦手な人が見ても面白いと思います。
2008/05/26 22:35:04	55P (60分)	
ロマンチストの資格	1-55ページ、175-198ページ	いま地価最高額（坪1億円）の銀座は、明治のレンガ街計画によって作られた町だった。 「江戸→東京」というスケールで都市を変えることをめざし、実現した計画と夢に終わった計画。そこに、明治の帝都構想、都市計画、明治政府の実力者の歴史が読める。 建築史家、建築家の藤森照信の視点や文章も分かりやすくおもしろい。
2008/05/13 12:49:32	78P (90分)	
	45-55ページ	

ミソカツ	327-432ページ	何百年も続いた封建社会江戸からの脱却を迫られた明治。 ここではこれまで江戸が築いてきたものが全く通用しない。 都市を骨組みから変えていかなくてはならないのだ。 急速に求められる要求に応えるべく作られた4つの事例。 乞うご期待。
2008/05/09 20:50:17	106P (50分)	
	332-342ページ	
すみただ	1-342	教科書には載っていない、都市計画の背景が描かれている。 様々な主要人物が自信の名声を得るための手段としても都市 計画というものを捉えていた。そんなドラマチックな一冊。 古語が多く、かつ常用漢字以外も多々出てくるので少し読み づらかった…。
2008/05/05 19:40:25	342P (600分)	
	57-59	

[TOPへ](#)

新版大東京案内 上・下

著者名	今和次郎	発行年	年
出版社名	ちくま学芸文庫	ページ数	678ページ
値段	2,200円	ISDN	978-4480086716

考現学というひとつの学問をひとりで立てちゃったスゴい人がスゴい視線で昭和4年の東京をくまなく案内してくす。フィールドワークのお手本満載。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
ミソカツ	205-214	当時浅草に集まる人の求めるもの、飲食や娯楽に対しての考え方に対して、高くてよいのは当たり前、安くてうまい、といった自らが支払ったお金に対して熱心な印象を受けた。 客の本気さ、正直さといったものが、粋というもののなのかもしれない。
2008/08/17 05:28:19	10P (10分)	

purebred	14-342	「東京のことがよくわかるね」といった感じでしょうか。 今和次郎の変態っぽさ(ポケットの中でスケッチしちゃう等、でもそこがすごいところ)を期待しすぎて、面白くなかった。面白いところが出ると思って延々読んでしまったが・・・
2008/08/11 03:51:47	329P (240分)	
	特になし	
は る ゆ き	下13-74、 113-139	昔の東京が生き生きと描かれている。 文章が古く難しいので、読むのが疲れる。
2008/07/15 10:17:03	87P (60分)	
	124	
hiro	221-229	新宿に関するところを読んでみました。 震災以降から新宿には人がごった返していた様子が分かります。 当時の東京を知ることの出来る本で面白いと思いますが、いかんせん文体が難しくて重いので、のめりこむことは出来ませんでした。
2008/07/01 15:06:57	9P (10分)	
	221-229	
SOUTHERN (° ㇿ °) !	1-32,166-170,193-256,307-雅叙園まで (笑)	おもしろい本だなあという印象です。 文体はやや古いですが。 僕は東京にきてまだ一年と3ヶ月ぐらいですが、暇な時いろんな場所を観光してますので、なんかすこし興味を持って読めました。 「昔のTokyo Walker」ってかんじでしょうか？昔のカフエーのクイーンとか広告とか「盛場の人出分析表」もおもしろいですね。今と違うところ、今も昔も変わらないところなどなどをながめてみては？今和次郎が今の渋谷を見たらどうなるんだろう。。。と妄想しつつ。
2008/06/19 11:18:09	135P (120分)	
	自分のよく知っている東京の場所。僕の場合、「盛り場」「享楽の東京」「遊覧の東京」らへん	
マーシャル	上12-45	昔の東京を当時の人の視点から描いている。ただ文体が難しく、自分には正直理解しづらかった。
2008/06/18 13:19:33	34P (30分)	
	上12-45	
本多小松	12-32	東京の昔の姿が描かれている。現在のものと比較するのもいいかもしれない。変化をおえる本かもしれない。 しかし読書が苦手な私には文章が重かった。
2008/06/10 12:25:45	21P (30分)	
ポンプUno	上21-47、 77-105、 133-149、 178-204、 255-311	昭和4年の東京は、自分が思っていた以上に大都会でした。 街の隅から隅まで精力的に歩き倒す筆者グループの精力と、可憐に踊る女性ダンサーの隠れた苦悩まで看破する、鋭くも人間味あふれるまなざしに感服しました。
2008/05/07 00:42:41	157P (120分)	
	上287-291	
アイを叫んだケモノ	上21 - 89、 97 - 103、 114 - 187、 297 - 321 下113-144、	帝都と呼ばれた時代の東京を詳細に紹介した本。当時の震災復興し大躍動をし続ける東京の様子が生き活きと伝わってくる。特に戦前東京のファンにはお勧めだ。また、東京以外の出身者に紹介する時に役に立つと思う。
2008/05/06 21:35:54	205P (130分)	
	320 - 321	

小松崎茂昭和の東京

著者名	根本圭助 編	発行年	2005年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	205ページ
値段	1,000円	ISDN	978-4480420992

看板好きだったんですね。街並みを写しつつ、つい看板に目が行ったのは同業者意識か？ ていねいなデッサンに導かれての浅草や銀座のレトロ散歩。全編ほとんど絵。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
読書中	1-226	読むと言うよりは、眺めるに近い本です。 味のある魅力的な絵なので、見ていて楽しかったです。 写真よりもスケッチのほうが、看板・広告・人などが目立って見えるため、にぎわいがはっきりと見て取れて（特に浅草・銀座あたり）面白かったです。
2008/08/18 00:51:16	226P (40分)	
ミソカツ	1-239	小松崎本はすごい！という噂を聞きつけてやってきました。 噂通りの本でした。それはさておき、 やっぱり浅草は着物が似合うなあと思いました。でも実際浅草で着物を来た人を自分はあまり見たことがないこ
2008/08/17 05:19:23	239P (40分)	

	57	とに気づきました。 イメージの風景がここにあるのかもしれませんが。
鳩会社元社員	1-88,145-160	ほぼすべてが挿絵でした。写真とは一味違った“温かみ”を感じられます。
2008/08/14 00:46:47	104P (30分)	
	挿絵	
purebred	1-226	隅田川の風景が良い。 小松さんの描く絵は、つまるところ小松さんの好きな風景。 河岸の家々を描くところを見ると、小松さんは隅田川の何が好きだったかが分かるとともに、現代のカミソリ堤防が、いかにそれを破壊していったかを考えさせられる。
2008/08/11 03:34:24	226P (25分)	
	87-128	
contax139	87-198	銀座の街の絵はこれぞ銀ブラ！？なのかと。 街を歩いている感覚でした。
2008/08/06 09:55:09	111P (20分)	
	162,168-173	
pato	55-86, 161-198, 199-214	絵だけ見させてもらいました。 浅草寺、銀座、丸の内と色々な街並みが。 残念ながら浅草寺しか理解できなかった。
2008/08/01 22:05:59	86P (30分)	
	55-86	
しゅーくりーむ	1-239	小松崎 茂さんて誰なんだろうって思い手にとって見た一冊 この方が各絵には何故か吸い込まれるような感じが 昔の東京なんて全く知らないのに、懐かしさに浸ってしまった この人の絵好きだなあ
2008/07/29 03:59:52	239P (50分)	
Www	1-226	絵だけをすべて見た。銀座は近代的で美しく描写されていた。いつの時象徴的な場所であることが分かる。街並を大事にしていることが絵から分かる。
2008/07/22 21:01:32	226P (25分)	
	145-160	
パトロン革命	1-239	自分達の知らない東京がいっぱい詰まっていました。東京駅や銀座など、ところどころ面影を感じる場面もありました。どれも細部にまでこだわった素晴らしい絵ばかりで、写真よりも見ていて楽しかったし、目線が高くなかったのがいいと思いました。佃島の船着場など、故郷と殆ど変わらないような風景があったのが意外でした。
2008/07/17 17:42:31	239P (60分)	
	14, 111	
パトレーゼ	1-239	とても美しいイラストによって、昭和初期の東京の姿を窺い知ることができます。見ていて楽しいだけでなく、これはもしかしたら資料的価値もかなり高いのではないのでしょうか？こういった記録から失われつつある都市の記憶を掘り起こし、生活を豊かに彩ることが求められているのではないかと思います。
2008/07/17 13:45:19	239P (20分)	
メルハバ	1-239	スケッチで描いた昭和前半の東京の町並みを載せている一冊です。写真とは一味違った味のあるスケッチが何か懐かしい気持ちにさせてくれました。今と昔の町並みの差を見比べてみるのも面白いと思います。個人的には横文字の書き始めが右からなのにノスタルジーを感じました。あと、みんな言ってますがこの本は文章がほとんどありません（笑）ので、ページ稼ぎもおススメです。
2008/07/15 19:05:39	239P (20分)	
	好きな街のところ	
アイを叫んだケモノ	1-229	今和次郎の本とこの本を持参して散策を行うのもなかなか通だなと思います（文章がほとんどないので、実際に見に行くぐらいは、と思い散策してみました結構よかったです）。たまには研究や論文のための目線以外の見方を持ってまちを歩いたり、スケッチしたりすることも大切だと実感。
2008/07/15 16:22:57	229P (50分)	
	27-53	
すみただ	1-239	デジカメ等が普及した現代に生きているからか、小松崎さんの何気ない街並みのスケッチから昭和の雰囲気を感じわ〜っと伝わってきた。人ごみの様子やいかにも昭和、といった屋外広告物。現代にこのような街の風景をスケッチによって描き留めている人はいるんだろうか…。スケッチならではの温かみというものも感じとれた。そして何より、 … ページ数が稼げます・笑
2008/07/08 16:05:17	239P (40分)	

honyalala	1-239	普段と異なったスケッチから通して、東京の町並みを眺められたのは良かったかなと。
2008/07/08 13:04:20	239P (20分)	
	スケッチページ	ページ数はおいしいですし。
白猫	1-239	浅草や丸の内などの、昔の絵を収録した作品。絵ばかりで楽です。
2008/07/04 18:44:16	239P (45分)	
		私は大丈夫でしたが、今の姿すら知らない人には面白くないかも。
人生迷走中	1-226	暇なときになんとも眺めるのにぴったりだと。
2008/06/24 13:11:15	226P (15分)	
		個人的にこういうイラスト大好きです。
yossie	1-239	文章はほとんどなく、大半が小松崎さんのスケッチで構成されています。パラパラと絵を眺めるのもいいのですが、スケッチの細部をみるといろいろな発見があり面白いと思います。読後に浅草や丸の内などに足を運んでみるのもいいものです。
2008/06/19 10:16:18	239P (45分)	
	ほぼ全て	
は る ゆ き	1-226	画力に圧倒される。
2008/06/17 12:11:29	226P (20分)	ページ数が稼ぎたい人はぜひ（笑）
	全部	
つけめん	ほとんど	
2008/06/17 11:15:40	200P (20分)	ほぼイラストだったからページ数が稼げたよ。
	230-239	
hiro	1-226	ほとんどが絵と最後にちょこっとだけある写真で占められています。最初のカラーの部分は非常にきれいです。地下鉄など、今の東京とは全く異なりメトロな感じがして、懐かしい気持ちに慣れる一冊です。
2008/06/10 16:11:52	226P (30分)	
	1-12	
P-ball	1-226	昭和の雰囲気がつたのしめました。「ブラジル... BRAZILCAFE...」と「トーレコヨチ永森」と横文字が入り混じっているスケッチ、「地上より二十二度暖かい地下鉄」という看板など、思わずにやけてしまいました。
2008/06/09 13:45:14	226P (30分)	
	1-16	
ぜんまい	1-239	ほとんど絵です。昭和の時代って、こんな風なんだ。ルービンリキ。とても楽しめる。前置きのナレーションがあまりにも哀しい。
2008/06/04 17:53:40	239P (60分)	
	1-16	人は何に憧れを抱き、どのように生きたいと願うのだろうか。
sufjan	1-239	
2008/06/02 11:47:22	239P (60分)	絵。別に生まれてもいないのになぜか懐かしい感じがする。おばけ煙突ってこち亀でもあったなー
	1-16	
ひさひさ	1-239	
2008/05/28 14:36:12	239P (30分)	絵で大半が占められています。個人的には、東京駅の絵と、橋が描かれた絵が好きです。
	130-144	
特になし	1-239	冒頭のカラーの絵がとても繊細で綺麗です。全体として白黒の昭和初期のスケッチが多く、レトロな感じ満載です。古きよき昭和が見てとれます。
2008/05/23 21:19:01	239P (60分)	
	1-16	
ナミ	1-239	全体的に絵葉書を眺めているみたいで、絵が好きな人なら楽しいと思います。銀座、丸の内は今では大都会（？）ですが、この本の中ではちょいレトロでなんだか微笑ましいです。丸の内のページ内にある東京駅は今も変わらずなんだか安心しました。
2008/05/22 12:21:42	239P (30分)	私は小松崎茂さんという人は知らなかったのですが、あとがきがためになりました。高い美術館に行かずして、小松崎茂さんのことを本を通じてちょっと知れた感じがやや

	161-214 パラパラ漫画的？、227-229	オトクな気がします。
本多小松	1-239	イラストでみる昭和の浅草とその周辺。今も変わらずある場所もあればその姿・にぎわいを大きく変えてしまった場所も。「こち亀」という漫画（100巻より前がおすすめ）でも浅草を舞台として話があり、それを読んでから読むと浅草についてちょっとはわかるかと思います。また、この本片手に浅草なんていいかもしれませんね。
2008/05/01 12:32:33	239P (90分)	
	1-16	
鱒鮭	1-239	9割がたイラストで構成されているので手軽に読め（観れ）ます。文字では伝えにくい、その時代の情景を存分に楽しむこと間違いなしかと。
2008/04/27 23:42:29	239P (30分)	
	130-198	
マーシャル	1-239	この本のほとんどのページが絵です。読むというよりは、見るという感じで読み進めていって下さい。最初のカラーページがとってもきれい。
2008/04/24 17:09:23	239P (30分)	
	1-17	

[TOPへ](#)

真珠湾攻撃総隊長の回想淵田美津雄自叙伝

著者名	淵田 美津雄	発行年	2007年
出版社名	講談社	ページ数	379ページ
値段	1,995円	ISDN	978-4062144025

総隊長として、あの真珠湾上空に3時間もとどまった男。それだけでもすごいのに、ミッドウェイ、そしてヒロシマと歴史の重要場面に、ことごとく居合わせ、その回想がナマの激しい言葉で綴られる。どのページを開いても、そこからぐいと、フチダ節に引きずり込まれるはず。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
knennn	1-153,193-254,315-421	戦争ものは普段あまり読まないのですが、これはおもしろく読めました。興味深いのはキリスト教に回心した後も、戦争についてはあれはあれでしたかなかった、あの時やれることをやったという立場をとっている所です。また、アメリカ伝道中に敵同士だった向こうの軍の司令官たちと会い、親交を深めるのですが、あれだけの死者を出しながら終わってしまうとにこやかに話せるのものなのかと思いました。
2008/08/11 18:39:30	323P (240分)	
	110-129	
mizuhara	1-69 193-241	一章は、当時の軍内部からみた、太平洋戦争前の軍備の話が書いてあり、四章は、敗戦に向かう日本の惨状と海軍・陸軍の隔たりが浮き彫りになっていく様子が書いてあります。

2008/07/15 03:30:55	118P (100分)	短いですが、四章の、広島の惨状が印象的でした。
		若干難しいですが、あまり知らない話が多くて、読んでいて飽きません。
P-ball	313-409	連合国側の荒さがしをしていた著者が聖書と出会い、回心する姿が印象的でした。
2008/06/09 11:47:00	97P (50分)	信仰によってあんなに人は変わるんだな、と形の上でしか宗教を信仰していない私には衝撃的でした。
	315-319	
ジョコビッチ	3-416	前半は太平洋戦争における話、公判は戦争後、キリスト教に回心した話がある。ものすごくマニアックな話で、歴史が好きな自分も知らない話がたくさんあった。
2008/05/20 11:23:23	414P (240分)	戦争とは何かを考えさせられた。
	116-133	

[TOPへ](#)

木村伊兵衛と土門拳

著者名	三島靖	発行年	1995年
出版社名	平凡社ライブラリ	ページ数	323ページ
値段	1,400円	ISDN	978-4582764888

ふたり並べてみたのがいい。ひとりだったら神様のように平伏して拝むしかないけれど、超一流の、でも違うもの、時として対立すらしたものを右と左に並べて見比べることで、写真にこもっている魂の読み解き方が、少し分かってくる。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
つばき	1-323	写真が撮りたくなります。 土門さんの記念館に行きたくなりました。 二人の違いは、対象的だけどポリシーがすごい
2008/08/18 22:02:26	323P (180分)	
ミソカツ	7-101、151-174、215-237	人物を写すだけでもこれ程までに考え方や写し方が違うものかと驚かされた。 二人の写真家が何に興味をもち、写真によって何を伝えたかったのか、写真という媒体の力強さや柔軟さを感じた。

2008/08/17 06:07:48	142P (120分)	人は同じものを見ていても全く違う見え方をしているのだと改めて思わされた。 一度この二人の目から世の中を見てみたい。
	89	
鱒鮭	7-46	二人の巨匠とその写真の違いが簡潔に描かれている。
2008/08/11 17:08:01	40P (20分)	初めのほうで言われている二人の作品違いといったものをとどこどこに挿入されている写真から十分伝わっていて、魅入ってしまいます。
男爵いも	1-50	
2008/08/07 06:48:34	50P (10分)	二人の写真は対照的らしいのだが、写真を見比べてもよくわからなかった。やはり写真は難しい。
	写真	
まるきん	11-101	ぱらぱらめくって写真だけ見てました。
2008/08/05 12:17:40	20P (30分)	土門という人のことは知っていましたが、木村という人のことは知りませんでした。
	写真	どちらの写真も好きです。
contax139	23-74,151-189	2章で対象的に木村氏、土門氏のカメラとの出会いが描かれているが、立ち読みポイントで記す部分では、それぞれの個性が描かれている。二人とも巨匠といわれる人々なのだが、どこか親しみがわく。
2008/07/22 23:09:25	85P (60分)	被写体に向き合うところから、現像まで。デジタルな今にはない写真の世界が広がる。この授業で出会えてよかった1冊。写真ページもお勧めです。
	152-155,176-181	
パトレーゼ	8-46、写真98p分	写真素人の私でも聞いたことがある2人の偉大な写真家の生きかたを、彼らの写真とともに紹介していく本です。掲載されている写真はやはり素晴らしい。私はどちらかというと木村伊兵衛の方が好みます。この本の問題点というか、構成で失敗しているなど思うところは、木村と土門の写真やエピソードがごちゃまぜになっているところで、おそらくテーマごとに両者をクロスさせて語りたいのですが、あまり成功しているとはいえません。私個人としては、木村編と土門編を分けてほしかった。
2008/07/22 13:46:37	137P (30分)	
ODN	P8-22 , 写真	
2008/07/11 12:54:11	19P (20分)	1章だけ読んで2人の違いを把握したあとに写真を見たら2人の写真の違いがわかったような気がします。
	写真	
人生迷走中	28-323	
2008/06/24 13:06:59	102P (5分)	写真だけ覗きました。
	写真	
sufjan	パラパラ	
2008/06/10 12:31:00	30P (20分)	子供の表情がいい。
	92	
モンモンモン	1-50	
2008/06/02 10:12:58	50P (60分)	写真を理解するのは難しいです。
	まずは写真	
ポンプUno	121-189,218-332	対照的な2人の写真家の在り様を並行して追っているうちに、写真という表現の奥行き of 広さを知る事ができました。
2008/05/28 00:09:44	184P (90分)	デジカメ買おうかな。
	写真	
ivane	7-46,75-100,175-214ページ	この本は「導入」や「はじめに」などがなく、構成が少しわかりにくいのですが、一章と二章で二人の紹介と違いについての解説があります。二人についてよく知らない人は、まずこの二章を読んだほうがわかりやすいと思います。自分は何も知らずに真中から読み始めたので、少しわかりづらかった。
2008/05/20 09:37:03	106P (120分)	
	24-46ページ	
ロマンチストの資格	23-74ページ + 写真	まずはパラパラとページをめくってほしい。
		パラパラと写真のページだけを見ていくにつれて、写真の印象が大まかに2種類に分けられることに気づくはずだ。
2008/05/07 12:38:03	51P (40分)	ふわりとした木村と、がっしりとした土門の写真。 それが、木村と土門の違いである。
		この違いが気になったら第2章を読むことをお勧めする。

	写真のページ	写真の上に映し出された二人の人生の違いが面白い。
camel	8-46,292-331,途中の写真多数	写真って、絵画と違って素人が見てもすごさがわからないものという認識がありました。 けど、これからはもう少し楽しんで見ることができそうだ。 「写真家であるということは、抜きんでて見る者であり続けよう とすることだ」 なるほど。 写真も多いので、ノルマクリアにもおすすめ。
2008/04/28 20:34:23	100P (90分)	
	302,327	

[TOPへ](#)

ついこの間あった昔

著者名	林 望	発行年	2007年
出版社名	弘文堂	ページ数	240ページ
値段	1,500円	ISDN	978-4335800559

和服のおばあちゃんが茶の間で（！）新品の洗濯機のローラーを回して洗濯物をしばっている。手前には夕餉のしたく。そんなレトロ写真に、そう言えば夏休みに洗濯の手伝いで衣類を「のしいか」にするのは、けっこう楽しかったっけ、と著者自身の思い出を重ねる。

ありきたりの写真解説ではなく、個人の記憶と重ね合わせることで、昭和の内ぶところに、より深く抱かれるのが、ここちよい。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
ロマンチストの資格	92-115,164-195,写真	昭和30年あたりの写真と解説、回想。 昭和60年代生まれとしては両親の世代か。経済成長で画一近代都市になる前の風景が、生活が、知らないのに懐かしい。どこか日本人的な感情と思想の源泉が、まだそこにはあったように感じた。自分の体験を語る著者の記
2008/08/18 14:45:40	56P (60分)	

	写真	述が、それに多大なりアリティを加える。
ミソカツ	1-251	昔をひたすら懐かしんでいるだけのように見えた。
2008/08/17 05:14:08	251P (80分)	確かにここには今はもう見る事が出来ないような光景がたくさん載っているけれど、それを昔はよかったと言っているだけでは何も生産性がない。
	12、20、28	
ぜんまい	1-6、92-115、156-163、196-203	「肥溜め」なんて久しぶりの単語を見かけたものです。小さい頃はよく耳にしていたのに。20年そこそこしか生きてませんが、どんどんと環境は変化するものですね。渋谷は全然田舎じゃないように見えるけど・・・
2008/08/15 14:34:17	46P (30分)	
purebred	1-140	子供の無邪気で真剣に遊ぶ様子が浮かんできて微笑ましい。 特に44-45の豊洲の風景が良い。
2008/08/11 03:42:29	140P (75分)	今の豊洲のマンション群にこのような子供の顔を見ることはできないだろう。
	44-59	この本を読んで、ノスタルジーに想いを馳せる自分に嫌気がさすとともに、じゃあどうしたいのかわからない自分に歯痒さを感じるような・・・
しゅーくりーむ	ぱらぱらと	冊数稼ぎにぱらぱらと
2008/08/07 14:50:42	30P (20分)	すごい昔に思えるけれど、まだそんなに経ってないことのことなんだあと
まるきん	1-120	祖母の家に辛うじて残っていた風景が主役の時代
		そんなに知らない時代の話だけど、懐かしさはある。不思議だ
2008/08/05 13:20:28	120P (70分)	
	1-70	自分が小学校に通っていたのは10何年も昔だとふと思い出してぞっとした。でもまあ、今とこの先を楽しくしていくことしかできないので、思い出はぼろぼろじゃなくて少々でいいと思う。すていぐりーん
Nimrod	P.1-99	某人気アニメの劇場版での子供のさりげない台詞「懐かしいって、そんなに良いものなのかな」を思い出した。
		どうもこういう回顧主義的なものは受け入れがたい。ひたすら過去を美化し、現代を卑下するばかりのコメントには嫌気が差してしまった。ノスタルジーというより、戯言にしか聞こえない。
2008/07/22 14:42:47	99P (20分)	リンボウさん、ひたすら否定的なことばかり言わないで、今の日本も見てください。写真に載っているのと同じように今日もガキ大将は傘でチャンバラをして、おばさま方は近所の皆となんてことない会話で盛り上がり、誰もがおばあちゃんの知恵袋に感心し当てにして訪ねてきます。根付いているものは何も変わっていない。表層が少し塗りなおされただけ。
	なし	久しぶりに読書をしながら苛苛してしまった。
knennn	1-67,188-251	なぜか見ていて懐かしさを感じました。個人的にはモノクロの写真だとあまりリアルに感じられないのですが、どの写真もいい雰囲気を出しています。もしかしたら、今もこんな風景がどこかに残っているかもしれません。
2008/07/15 09:30:35	132P (60分)	
	196-203	
Www	写真 12-35	本のタイトルが内容をぴったり表している。ほんの40年前と現在の大きな差を感じ、そう

2008/07/14 22:53:45	50P (30分)	なると40年後はどうなってるのかな～とふと物思いにふけそうだ
	12-35	
パトレーゼ	1-187	昭和30-40年頃というと、遠いような近いような、なんだか中途半端な昔のように感じますが、ここで紹介されている写真を見ると、やはり遠い昔なんだなあという印象を抱きます。写真1枚ずつにエピソードが添えられており、その出来不出来には多少波がありますが、やはり人々の表情が生き生きと読み取れるものはとても面白く、また筆者の筆も滑らかであるように感じました。
2008/07/08 16:10:44	187P (90分)	
		我々学生にとっては「ついこの間」というわけでもないが、どこかなつかしい感じのする写真と、その解説がされている。自分の観察した感じと、著者の説明と比べてみると、視点の違いが出てきて面白いかもしれない。なんか昔はよかったなあと思ってしまった。
白猫	1-251	
2008/07/01 12:51:30	250P (180分)	いい味、出してます。
	52-59	
yew	写真を中心に	なぜだろう、ノスタルジアを感じさせる写真にはいつも子供か老人が写っている。
2008/06/28 16:16:44	70P (45分)	
	12,13	私の父は昭和24年生まれなので、「ほー父の子供時代の東京はこんな感じだったのかぁ」と思いながらぱらぱら読みしてました。
sugar	1-60	
2008/06/24 12:06:47	59P (30分)	頻繁に出てくる「あの頃はよかったなあ...それに引きかえ今は（ry」的回顧はちょっと鬱陶しかったのですが、やたらめったらピカピカで背の高い建物や味気ないアスファルト舗装のない昔の町っていいなあと思いました。
	特になし	
すみただ	1-147	数々のモノクロの写真から、現代とは反比例した貧しさと豊かさが見て取れた。写真から、今考えると生活を送る上で不便なことが多々あったんだろうなと簡単に想像できる。でもそんなことより、子どもたちが外に出て、群らがりながら思いっきりチャンバラやままごとをしている姿が印象的である。日本人が失ってしまった、人間同士の触れ合いから得られる心の豊かさみたいなものを多く感じ取れたような気がする。一度、本書を両親に見せて、当時の生活や思い出というものを聞いてみたくなった。
2008/06/20 17:39:17	147P (150分)	
	52-59	自分らは生まれていないけれど、戦後間もない頃の写真を集めた一冊。実際に体験したことのない時代だけれども、昔から「あの頃は良かったなあ。」といわれている時代のせいも、非常にノスタルジックな感じになることができました。おススメしたのは昔の渋谷ですが、どこを読んでも日本はすごい変化したんだなあ、と思いました。しかし、作者が書いているように同時に人間関係が希薄になったりもしていて、今が本当にいい状態であるかどうかは別の話だとも思いました。
メルハバ	1-6、60-195	
2008/06/17 10:55:41	142P (40分)	タイトルにあるように、年数的には「ついこの間」程度の昔の写真なのに（もっとも自分が生まれるずっと前なので、昔には違いないが）、もっとはるか昔のもののように感じる写真がたくさん。日本ってこの数十年で大きく変わったんだなーという印象でした。
さっく	1-67	
2008/06/10 18:43:10	67P (60分)	

	44-59	
パトロン革命	12-43, 92-99, 172-195	懐かしい、というかその時代を知らない世代の自分ですが、一枚の写真から可能な限り想像をめぐらす、という新しいスタイルで読書できました。どの写真もどこか温かみのある素敵な作品でした。両親と一緒に読むと、また違った情報を得ることができるのでしょう（一人暮らしだからできないけど）。どこから読んでも楽しめるおススメの作品です！
2008/06/06 18:13:37	64P (60分)	
	28-35	
モンモンモン	1-155、172-187、220-235、その他写真ページ	立ち読みポイントの部分は、男の子の写真が中心になっています。私が小中学生時代、悪餓鬼で泥だらけになりながら怪我しかねない遊びを当たり前のようにやっていたことが思い出されます。 他にも、和やかな家族の風景や町並みの写真がたくさんあります。勉強の息抜きに、この本を開けば癒されるでしょう。
2008/06/02 10:29:02	190P (120分)	
	28-75ページ	
ナミ	1-251	写真→その説明（みやすいフォント）で、読書をしているというよりは、記事を読んでいる感じで、読みやすいです。 ただ、自分が写真から得たイメージと著者の意見が違うこともあり、そうかなー？とたまに納得いかないところがありました。（あくまで私はですが...） 社会背景がにじみでている写真が多く、私達の写真も50年後位にはこんな風にああだこうだ言われたりするのかなと思うと、少し怖い気がします。
2008/05/22 12:02:37	251P (80分)	
	20-27 社工的な写真かと...	
ジョコビッチ	1-251	もっと年上の人を対象にした本だと思うが、かなり読みやすかった。一気に読み終わった。 この本からは、戦後、いい意味でも悪い意味でも日本の変化を感じ取れる。現代は、科学技術が進歩し、便利な世の中になった。その結果、さらに幸せになったとは必ずしも言えないと思う。 いろいろ考えさせられた。
2008/05/07 10:53:56	251P (120分)	
	写真だけでも	

[TOPへ](#)

千年、働いてきました―老舗企業大国ニッポン

著者名	野村進	発行年	2006年
出版社名	角川oneテーマ21	ページ数	214ページ
値段	705円	ISDN	978-4047100763

事例のおもしろさに、びっくりの連続。

金箔屋さんがケータイ部品つくったり、精錬業が汚染土壌処理屋さんに転身したり、お酒を造りつつアトピーの子供のためのドリンクを開発したり。

プロジェクトXのような熱血サクセス・ストーリーとは異なった、融通無碍で軽やかな現場からのメッセージ。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
purebred	37-58,117-189	折りたたみ携帯をパカパカやりながら読んでみましょう。 まじまじと見ちゃいますよ。
2008/08/18 23:35:50	99P (60分)	
	37-58	
アイを叫んだケモノ	13-58	老舗企業は老舗旅館とは違っていわゆる伝統的な趣であったり、建物であったりを残すものではない。作業そのものが機械化されたとしてもそこに詰め込まれた知恵や技術といったものが伝統として受け継がれ洗練されていく。
2008/08/18 12:56:01	56P (40分)	

	13-58	この本を通してそう考えた。
ミソカツ	115-139	伝統を乗り越えようとした試みとその伝統の根本を消し去ってしまっているようにも思えた。
2008/08/17 05:56:25	25P (30分)	筆ぺんのように。
	122-132	しかし、なくなってしまっではどうしようもないのも確かである。
ぜんまい	13-79、157-189、219-239	そのエッセンスは残し、現代でも気軽に触れることができることがまずは大切なのかもしれない。
2008/08/15 13:38:14	121P (120分)	技術者の道を考えるにあたって、非常に気持ち良くなれる内容。
		優良老舗企業の人たちの言葉が多く盛り込まれているのもグッドです。
SBM	13-36	日本人は世界的に見ても異質な価値観を持っているのはよく言われることだが、
2008/08/13 09:08:20	24P (30分)	「削る文化」と「盛る文化」という表現は興味深かった。
		余計な物を削ぎ落としていく価値観があるからこそやり方を変えつつ生き残る企業がたくさんあるのかなと思いました。
男爵いも	1-58	
2008/08/07 06:55:28	58P (30分)	ケータイに使われている老舗のさまざまな技術を紹介しているところが面白かったです。
	37-58	
contax139	1 - 79	老舗とは、
2008/08/06 10:01:22	79P (90分)	古い伝統をひたすら守り続ける存在。ではなく実は、芯を持ちながらも、時代の変化に柔軟に対応し続けていく存在なのだと感じた。いつまでも色あせない。浮き沈みを繰り返しても続くものなのだと感じました。
	63-68	
みけもどき	13-239	ケータイの中に生きる金箔屋さんの技術など、驚きの老舗の技術がたくさん紹介されています。
2008/07/30 00:03:06	227P (210分)	コアな部分はそのままに、柔軟に時代に対応する職人さんはカッコいいと思いました！
	77-79	日本の国民性と老舗企業の育ち易さの関係など、背景などがもっと読みたかったです。
hiro	59-79	敗者復活という章が気になって読んでみました。
2008/07/22 16:37:33	21P (20分)	昔は精銅をしていた企業の技術が、今は携帯や自動車かた金や銀、レアメテリアルを分離するリサイクル事業に生かされていたり、土壌汚染している土壌から汚染を分離するエコ事業に生かされているなど、意外で面白い内容でした。
sufjan	13-26、193-210	
2008/07/22 15:16:27	32P (30分)	林原すげーよ
	193-210	トレハロースすげーよ
ODN	P13-232	
2008/07/22 10:28:55	220P (200分)	とても面白かったのでさくさく読みすすめられました。
	第2章	携帯という身近なものに使われている老舗の技術が紹介されている2章が特に面白かったです。
鳩会社元社員	13-36,59-79,117-153,217-239	世界最古と言われる企業は日本にあって、日本には創業100年以上の老舗企業が10万社以上。
2008/07/21 23:51:41	105P (90分)	本書を読んで改めて日本人であることに誇りを感じました。
	17-36	内容はもちろんですが、文章も非常に読みやすく書かれています。
モンモンモン	1-34ページ、173-178ページ	最初のページに人工水晶の写真あるけど、携帯電話には欠かせないものらしい。世界中の携帯電話にこれが使われていて、全部エプソントヨコムっていう老舗メーカーが作っているんだとさ。
2008/07/19 18:02:44	40P (30分)	
	173-178ページ	
ロマンチストの資格	13-239ページ	老舗というと、和菓子を作って300年、といったイメージがあるが、実は最先端のテクノロジーやヒット商品を老舗企業が作っている！
2008/06/17 01:30:19	227P (180分)	これは素直に驚きである。また、事業のコアを忘れない、社会貢献を忘れない、時代の価値を見抜く、といったあり方は企業としてのひとつの正しい姿を言っているように感じた。
	123-130ページ	世界ダントツ一番という日本の老舗を興味深い例で解説してくれ、非常にわかりやすい。

tormenta	13-232	携帯電話や化粧品、筆ペン、蚊取り線香などなど・・・日常的に使用しているものが、こんな老舗企業によって生み出されていたとは驚きでした。
2008/06/04 15:41:13	220P (200分)	名前を知っている老舗企業が、長年本業で培った技術を全く別の方面に生かして驚くような新事業を手がけられているようなお話も紹介されていて、非常に興味深いものがありました。トリビア的な感じです。
	157-189	
SEM	13-215	
2008/06/03 12:51:14	203P (180分)	「老舗」と呼ばれる企業の事例がたくさん書かれていてさらにわかりやすく説明されてたのでとても読みやすかったです。
	39-58	
mizuhara	13-239	若干、日本覇々な感が否めないですが、僕は日本人なので楽しく読めました。老舗の企業が残りのやすい日本の空気と、その中で老舗がどういう戦略で時代の変化についてきたか、と言うのが良くわかります。老舗と言っても伝統工芸ばかりでなく、最先端の産業に携わっている企業もたくさん紹介されていて、楽しめると思います。
2008/05/23 17:10:23	227P (180分)	
	157-	老舗を営んでいる人ならではの名言も出てきて、ためになりますよ。
camel	13-239	すごく読みやすいのであつという間に読破してしまった。
2008/05/23 15:31:01	227P (120分)	僕のように日本万歳な人は楽しんで読めるのではないのでしょうか。
	39-	
かごしま	1-79ページ、235-239ページ	この本では、各章ごとに日本の「老舗企業」を紹介しています。
		ただ、この本で取り上げられている「老舗企業」とは、いわゆる「ものづくり」を主体とした企業で、しかも時代の流れに沿ってその姿を変えてきた企業に絞られているため、工業大学に属しているわれわれにとっては、身近に感じられるサクセスストーリーとしてかなりおもしろいかと思います。
2008/05/21 20:22:11	84P (60分)	筆者によると、日本人は職人を好む気質がある、とのことでした。
		実際私も技術礼賛主義者ですので、「小さな会社だけと、われわれの仕事がないと世界は回らない」といった感じで、この本の中で企業が紹介されているのがたまりません。
	第一章	おすすめは第一章です。 アジアの歴史を「老舗」という切り口から見ています。
Www	1-239	この本には多くの日本の老舗企業が登場する。その一つを例に挙げると、宮大工を専門とした建築会社で、創業は1400年以上である。
2008/05/12 19:56:02	239P (200分)	内容はまさに「技術力の日本」を象徴するかのよう、小さな老舗企業がどうやってNo1になるかが、ケースごとにインタビューを通して書かれている。それはまさしく努力の賜物であり、偶然の産物では製造業は成立し得ないことをあらわしているようであった。
	最初の数ページ	またこの本は新書であり、パラグラフごとに細かく分かれているの非常に読みやすい本であった
マーシャル	1-239	日本には、何百年も続いている老舗企業がたくさんあることに驚いた。しかも、老舗だからといって古いものばかり作っているのではなく、昔ながらの技術を応用して電子部品までもつくっている。理系の人を読むと結構ハマります。
2008/05/07 12:57:36	239P (300分)	
	100-116	

大相撲の経済学

著者名	中島隆信	発行年	2003年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	237ページ
値段	680円	ISDN	978-4480424280

相撲協会とは、これすなわち250年も続いている格闘技ビジネスのシステムなり。

実力主義なのに年功序列。神とも崇められているはずの貴重な横綱の給料はたった282万円。年寄株に八百長と数々の特殊性に彩られたこの相撲産業を経済学の視点で分析すると、さてどうなるか。

朝青龍がどうしても品格がなくても平気でいられるのか、も分かります。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
goran	1-270	大相撲の経済学という名前から経済学の話かと思いきや、意外と誰でもとっつきやすい話。 なんとなく知っているという相撲会の慣習・現実を事実だけでなく、なぜそうなったのか、なぜ変わらないのかということろまできちんと説明している。 なんか言いくるめられた感もあるが。
2008/08/18 23:40:24	270P (180分)	
	111-130	
じゃがいも	21-35,75-129,167-180,233-253	恐らく、今回取り組んだ中で一番すいすい読めた本だった、

2008/08/18 19:39:07	105P (70分)	相撲の懐事情がよくわかって楽しかった，
	233-253	小錦以来の体重のインフレに関する指摘が特になるほど，と感じた，
ミソカツ	1-270	大相撲の閉鎖的な仕組みがこれまでのようにうまく働かなくなっていること、
2008/08/17 06:14:21	270P (100分)	世襲制でもなく、スポーツであるため時代の流れに左右されてしまう難しさなどを少し知った。
sours	1-237	相撲が持つ「伝統」、「歴史」の重要性みたいなものに、非合理的な、胡散臭いものを感じていた自分としては、むしろそうした伝統や歴史の中で、結構合理的な制度がデザインされていたことに、驚きを感じた。
2008/08/13 10:59:46	237P (200分)	また、こうした既存の制度の存在が、昨今議論になっている改革の行使をより困難なものにしているような印象も受けた。
シマウマ	全部	大相撲という業界の入門書であり、ビジネスとしての成り立ちを解説した本。なるほど、大相撲は格闘技じゃないですね。
2008/08/12 20:54:26	253P (190分)	
	文庫版補章	
ksk	1-207	経済学というアプローチで、大相撲という仕組みを解説している。日本の国技・大相撲についていろいろ知ることが出来るので、経済に興味がない人にもオススメ。
2008/08/11 15:09:17	207P (240分)	
男爵いも	1-56,75-94,111-131	
2008/08/07 05:52:08	107P (50分)	読みやすく面白い本でした。
	111-131	特に八百長の部分が面白かった。
エリカ様	1-254	かなり面白い見方をしていた。
2008/08/06 17:25:08	254P (200分)	単なるスポーツとしか見ていなかった大相撲を見る視点が大きく変わりました。
	115-120	八百長は最近取り沙汰されていた問題なのでかなり興味深かった。
		八百長も悪くないな、とってしまった自分が情けないというかなんと言うか(笑)
特になし	21-55	
2008/08/04 14:07:00	35P (30分)	大相撲の給与体系などは面白かったです。
	42-44	
pato	233-251	ドルジ(朝青龍)のふてぶてしい理由がここにはあげられてました。
2008/08/01 22:24:00	19P (20分)	ドルジは品格をつけるインセンティブがないと書かれていたが、
	241-245	少し疑問が残る。
かごしま	15-232ページ	この本では、「大相撲」というわれわれにとって「特殊な人々の世界」を、経済というフィルターを通すことで、「われわれと同じ世界」とし、われわれが理解できるようにしています。
2008/07/23 19:34:05	218P (120分)	大相撲の世界は、サッカーや野球とは違い、完全な実力勝負の世界とはなっていません。
	157-160ページ	これは、大相撲は「会社」である、と考えることにより、理解できます。
		最近マスコミがこぞって取り上げている大相撲ですが、ニュースを見る前に、ぜひこの本をご一読ください。
contax139	57-180	相撲界についても学べる一冊でした。経済学とのからみでいえば、八百長の部分がおもしろく書かれていました。それに対して、相撲協会がとる対策についても。
2008/07/22 12:37:27	123P (100分)	
	77-80,111-118	今度番付表を注意深く見てみようと思います。
tormenta	39-180ページ	とてもユニークでおもしろい！読みやすい本でした。
2008/07/14 16:09:33	140P (100分)	経済学の視点から大相撲を分析した1冊。
		最近ほとんど大相撲を見ていませんでしたが、子供のころ毎日祖父と一緒に見ていたころが懐かしくなりました。
		2章や6章が特にオススメです。

	39-55, 111-129ページ	
ivane	15-129,233-253ページ	すごく面白く読めました。個人的には、八百長をリスクプレミアムなどを使って説明しているところが特に。
2008/07/14 07:24:18	136P (90分)	
	115-120ページ	
石川です。	1-125	力士は能力給か、年寄株の存在などなど面白かった。
2008/06/20 17:46:37	125P (160分)	
	44-48	
鳩会社元社員	15-261	卒論の締切に追われながらも欠かさずに17時から1時間、初場所を見ていた頃を思い出しました。 2008年3月に発行されたこともあり、朝青龍から時津風部屋の問題まで、最近の出来事についても書かれています。
2008/06/16 22:52:27	247P (180分)	
	223-232	
ひさひさ	39-130, 167-180ページ	職業としての相撲の特殊性が、わかりやすく書かれている。給料のしくみや、八百長についての内容が面白かった。
2008/06/14 12:51:28	106P (80分)	
さわら	1-270	全体的に読みやすい文章だったように思う。 相撲自体はあまり見ないけれども、相撲協会のシステムについては興味を持って読めた。 経済学の本なんてものは手にとって読んだこともなかったが、経済学の本が大体こんな感じなら、ほかの本も読んでみてもいいかな～くらいには思った。
2008/06/10 11:34:26	270P (200分)	
purebred	15-129	相撲信者から言わせてもらおうと、相撲は謎でいいのです。この本を読んでも深部を理解することはできません。みなさんが期待するブラックな部分はあまりわからないと思います。が、それでいいのです。美しく、そして強い。それが相撲です。 もっとブラックな部分を知りたい方は、デーモン小暮閣下にでも聞いてください。
2008/05/27 17:47:15	115P (90分)	
	78-92	
つけめん	21-56 75-129 236-253	まあまあおもしろかった。 力士ってのは浮世離れしてるもんだなって改めて思った。 力士の生活がわかる。
2008/05/27 11:09:22	110P (120分)	
	75-129	
パトレーゼ	21-38,75-166,201-222,233-254	大相撲の世界の深部に立ち入ることはあまりできません。外皮の薄い膜くらいは剥がしてみることができますが。もっとも相撲の世界はそれで十分新鮮なくらい謎に満ちているといえなくもないですけれども、たとえば個人的にもっとも期待していた八百長のエピソードなども、本書でも参照している「ヤバい経済学」という本のほうが突っ込みが鋭かったように思います。
2008/05/12 12:58:13	154P (60分)	
は る ゆ き	1-55,75-94,111-131,181-201	この本を読むと、いかに大相撲が経済的によく考えられていて、制度的に完成されている世界かがよくわかる。度重なる八百長疑惑に対し、何も対策がとられていないわけではない。実は取り組みは八百長が起こりにくいように組まれている。 今まで大相撲は大きな陰謀の元に成り立っている世界だと思っていたが、この本を読んで大相撲のイメージが大きく変わった。大相撲に興味ある人、興味ない人にかかわらず多くの人に読んでもらいたい一書。
2008/05/06 17:20:34	113P (90分)	
	111-131	
pocky	1-270	この本を読むまでは、大相撲の閉鎖的なシステムを変えて、開放的にすればいいののと思っていたのですが、このシステムにも合理性があることがわかりました。また、大相撲は純粋なスポーツではなく、文化的な一種のショーであると感じました。大相撲に疑問を抱いている人にお勧めです。
2008/05/05 15:39:59	270P (180分)	
	223-225,233-251	

世界一の映画館と日本一のフランス料理店を山形県酒田につくった男はなぜ忘れ去られたのか

著者名	岡田芳郎	発行年	2008年
出版社名	講談社	ページ数	262ページ
値段	1,785円	ISDN	978-4062143608

長い長いタイトルで埋め尽くされた表紙。なんとまあ、人を食った。
いえ、これはひとさまにお料理を召し上がっていただくことに生涯を賭けた男の物語。
そして、押さえどころは、これはサクセス・ストーリーではないこと。だからいっそう胸にしみる。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
石川です。	1-277	つつい全部読んでしまいました。はっぱと雰囲気は似ています。
2008/08/10 22:26:52	277P (300分)	
	2-30	
camel	141-165	おいしそうなメニューを見てお腹が空きました。 サクセスしないのが哀愁ですね。
2008/07/22 18:12:39	25P (30分)	
SEM	2-277	「葉っぱ」と似てるけど何かが違うなと思いながら読んでいたので

2008/07/14 21:25:52	276P (180分)	すがこの話は決してサクセスストーリーではないという紹介文を読んで納得しました。利益を度外視して客により良いサービスを提供しようとする主人公佐藤久一のストーリーに引き込まれてました。
	142-155	
ivane	2-8,15-115,215-277ページ	個人的には、電通にて40年勤めて定年した著者のエピローグが一番興味深かったです。電通マンもこんなことを考えるのかと。「葉っぱ」もそうですが、全部読んでしまいそうになるので、この本は濫読には向きません。時間がある人、余裕がある人はぜひ。
2008/06/24 09:56:25	171P (100分)	
	265ページ	
ジョコビッチ	1-277	あまりに長い題名に魅かれて読んでみた。 が、一気に読めてしまった。
2008/06/19 18:02:57	277P (120分)	佐藤久一氏の生き方は、私自身は好きではない。 しかし、経営が傾いても、自分の信念を貫き通し、最高の料理を提供するために努力する姿は、見習わなければならないと思った。 経営との両立は難しいと思うが、残念でならない。
		葉っぱの本も読んだが、この本の方がいろいろなことを考えさせられた。
		最後に、死ぬまでに一度はル・ポトフーに行ってみたい。
パトロン革命	2-47, 85-148, 209-228	葉っぱを売ろう！と違って悲しい終わり方であるところが、逆にこの作品に輝きを与えているような気がしてなりません。バイタリティ溢れる主人公の半生は、ただただ「すごい」の一言でした。何といっても料理に傾ける情熱がはなはだしく、主人公は一言で言うと「こだわりの塊」という感じです。人生の中で一度でもいいからこんなにこだわりと愛情の詰まった料理を食べてみたいと心から思いました。
2008/06/13 17:52:31	130P (60分)	
	236-238	
メルハバ	2-8、120-277	まず第一印象はタイトルが長い！これより長いタイトルの本は見たこと無いです。そもそも文章になってるし。肝心の内容は1人の男の栄枯盛衰の半生を綴っています。商売人としてはダメダメだけれど、料理人としては一流で、多くの食通達をどんどんとりこにしていく様は読んでいて気持ちのいいものでした。フランス料理はあんまり食べたことが無いけれど、本の中のメニューを見てるだけでお腹が減りました。そもそもあんなに褒められてたら食べてみたくもなりますわ。こっちはきちんと完結していますが、読んでの感触としてはさっくり読めて、葉っぱの本に近い感じがしました。今度山形に行ってみようかと思ってしまう一冊です。
2008/06/10 12:44:27	165P (100分)	
	120-155	

[TOPへ](#)

そうだ、葉っぱを売ろう! - 過疎の町、どん底からの再生

著者名	横石 知二	発行年	2007年
出版社名	ソフトバンククリ エイティブ	ページ数	199ページ
値段	1,575円	ISDN	978-4797340655

徳島県上勝町（かみかつちょう）。料理に添える葉っぱビジネスで、今やマスコミの注目の的。

どん底から試行錯誤で、ついに頂点へ。ちょっと気恥ずかしくなるくらいに、絵に描いたようなサクセス・ストーリー。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
ODN	P1-215	とても読みやすかった。
2008/08/18 00:26:57	215P (200分)	横石さんの働きっぷりがすごいなーと感心したがこれくらい仕事に熱中しないと成功しないのかと思うと自分の将来が不安にもなった。 楽して稼げる仕事はないだろうか・・・
さわら	1-215	読んでいて楽しい本で、最後まで一気に読めました。 横石さんの目の付け所や仕事に対する姿勢は言うまでもない

2008/08/13 19:11:23	215P (200分)	ですが。
	嘆願書のところ（ページ忘れた）	何より奥さんの大きさには頭が下がる思いです。
さっく	1-215	
2008/08/13 13:13:31	215P (150分)	とても読みやすく、さらっと全部読んでしまいました。
		ユニークで柔軟な発想、あきらめない姿勢など学ぶことは多くありました。
ksk	129-142,157-210	
2008/08/11 14:54:58	68P (60分)	成功の秘訣、みたいなものを紹介しているので、ビジネス本としても役に立ちます。読んで損はないかも。
	157-210	
男爵いも	1-215	とても読みやすく面白かったです。
2008/08/05 04:54:39	215P (120分)	葉っぱを売ってる町があることは知っていたけど、それをビジネスにするまでのエピソードが知れてよかったです。
わくわくさん	1-215	地方における地域再生については今、各所で注目されているが、本書で登場する上勝町は典型的な成功事例だと思った。
2008/07/31 18:09:09	215P (90分)	当然、地域再生には失敗事例も多く、本書の事例がすべての地域で当てはまるわけではないが、地方再生にはこのように地道に成功事例を増やしていくことも重要だと感じた。
石川です。	1-215	
2008/07/29 03:31:25	215P (200分)	読みやすい感じで、まちづくりにおける産業を生むことが大事かが伝わってくる。
読書中	1-105	平易な文章なので、読みやすかった。
2008/07/23 16:59:52	105P (60分)	災害にあったり、当初は周りから理解が得られなかったり、商品にほとんど値がつかなかったりする中で、試行錯誤する様子が楽しく読めた。
		あと、筆者は自分大好きなんだなと思った。
pocky	1 - 215	超田舎の町から妻ものを売るという考え方が素晴らしいと感じました。災害が起きドン底だった時期を逆にチャンスととらえ、新しい事業を立ち上げる先見は素晴らしい。また、充実した日々を送るためには、何かに打ち込むことが大切だと教えてくれました。
2008/07/20 14:49:24	215P (80分)	
	192-210	
ジョコビッチ	1-215	研究を進める際のそうだが、何ごともユニークな発想が大切であると実感した。ただ、この本の手法がどの場所でも応用できるとは思わないが。
2008/07/08 12:55:33	215P (120分)	読みやすいので、かなりオススメの本。
mizuhara	1-215	文章が読みやすくて、しかも、字が大きいので、大きい本の割に、サクサク進みます。
2008/07/03 10:06:21	215P (120分)	
	35-80	今まで誰も目につけなかった葉っぱに注目し、更に、農業の意識改革からはじめることで、悪くなる一方だった農村が一気に活性化していく話は、読んでいてとても楽しいです。
特になし	1-215	文章は読みやすく面白いですが、あまり内容が濃いいとはいいがたい感じです。
2008/07/02 13:50:48	215P (120分)	家庭を犠牲にしてがんばっているところは評価できませんが、村の人たちのために懸命に働いている姿はすばらしいと思いました。
	192-210	
hiro	1-210	親しみやすい文章で、読みやすいです。
2008/07/01 15:16:36	210P (120分)	どん底の村が、年に何億も稼ぐことが出来るようになったのは横石さんの、思いついたらまっすぐであきらめない姿勢と、周りの人おも巻き込んでしまうような明るい人柄にある気がします。
	158-189	ビジネスにはもちろん、そのほかにも学ぶことの出来ることが多々ある本だと思います。
ひさひさ	1-105	
2008/06/22 03:57:23	105P (80分)	葉っぱが売れるように、料亭通いをして研究する部分が面白かった。やっぱり努力と根性が大事なんだなーと思った。
	60-68	
crystal	1 - 215	社会貢献度の高い、素晴らしいビジネスだと思います。
		特に、はっぱの受注会社を立ち上げた方は市場調査のために料亭に通い詰めたせいで

2008/06/18 22:27:59	215P (120分)	痛風になったようですが、 そこまでこだわりつづけた信念に関心しました。
		ビジネスに興味のある方は、一度は見てみた方が良いと思います。
ivane	11-156ページ	「上勝村 いろどり」 で検索すると、この本の主題の会社のホームページが出てきます。本を読む前に見ると怪しいページにしか見えませんが・・・読んだ後に見ると、すごく面白いのでぜひ。 本についてですが、前半(6章まで)の再生物語と、後半のコメント？の二つにしか分かれていないので、濫読には向かないと思います。勢いで全部読んでしまうので。
2008/06/09 13:05:59	145P (70分)	
	http://www.irodori.co.jp/	
Www	1-215	
2008/06/03 12:23:27	215P (70分)	とにかく読みやすかった。成功ストーリーの中に具体的な方法論が要所に書かれていて流れをつかみやすかったが、筆者の自慢が若干うざい。
	1-5	
つけめん	1-215	超読みやすかった。 横石さんも、彩のばあちゃんたちも 幸せな生き方だなと思った。
2008/06/02 20:49:00	215P (180分)	
	108-118	こんな村なら住んでもいいと ちょっとと思った。
camel	-130	きれいな葉っぱを集めるとか、大きさを揃えるとかゆうくだりは、 読んでる方からすれば「当たり前だろ！」とか思っちゃうんだけど、やっぱ答えの見えない状況ではそういう問題発見すら難しいんだろうなーなんて考えたりしました。
2008/05/30 20:01:49	130P (90分)	
SEM	1-215	まるでドラマでも見ているかのような錯覚に陥るようなサクセス・ストーリーでつい引き込まれてしまいました。 財政難が叫ばれている地方の中でも信念と情熱を持ってビジネスを確立させた筆者と上勝町に感動を覚えると共にとても勉強になりました。
2008/05/27 10:09:30	215P (180分)	
	60-105	
は る ゆ き	1-215	文体が読みやすくあっという間に読み終えることが出来ました。
2008/05/19 00:35:47	215P (120分)	はっぱを売って大もうけという、なんだかすごくラッキーに儲けてしまったみたいに聞こえるけど、その裏では一般人には到底真似の出来ないような努力があったことをこの本は教えてくれる。そろそろ自分もがんばらないとなと気づかせてくれる本である。
	192-210	
P-ball	1-80	過疎の町ってサブタイトルに共感を持って本を手にししました。
2008/05/07 23:14:50	80P (40分)	葉っぱがビジネスになるとは驚きです。
	51-58	
ポンプUno	1-215	健康や収入を度外視した、筆者の猛烈な働き振りには頭が下がりました。
2008/05/06 11:27:40	215P (120分)	ただ、自分にはこんな風に寝食を忘れて熱中できる仕事が見つかるだろうか、と憂鬱にもなりました。
	60-80	
パトロン革命	1-215	読んでいるうちに自分の地元を思い出、感情移入してしまいました。傾向といい、状況といい、地元に重なり、最初は複雑な気持ちでしたが最後は清しい気持ちになれました。地元民でない一人の男性が、町を変えるべく立ち上がり、周りを変え、町を変え、やがては奇跡ともいえる大成功を収めていく様子が生き生きと描かれています。みどころはやはり、「葉っぱを売る」きっかけとなったヒントを見つけた瞬間ですね。人生、どこにチャンスが転がっているかわかりません。この本から元気と希望をもらいました。
2008/05/01 13:15:49	215P (70分)	今だから言えますが、もともと自分も、廃れていく地元に見切りをつけ「町を抜け出すために」この大学にきました。そういう事情もあり、この本を読んでいて地元のことが思い出されとても切なくなりました。
	50-53	折り良く、今日実家に帰省するので、いつもと違う視点で、地元を眺めてみようと思います。 実家に帰る前にこの本に出会えてよかったです。

メルハバ	1-215	一時期マスコミに取り上げられまくってたあの上勝町の仕掛け人の本です。新しいビジネスプランの誕生、苦難、発展といった非常に面白そうな内容な上に文章も読みやすく、非常に好感触な一冊でした。ビジネス本というよりは物語を読む感覚で読むと良いかもしれません。 葉っぱビジネスという目新しい内容に目が行きがちなこの本ですが個人的に一番素晴らしいと感じたのは町の人たちの笑顔でした、充実している人はいいい顔するなあ。自分も年取ったらこんな笑顔でいたいなあ。
2008/04/30 13:34:24	215P (90分)	
	130-156	
かごしま	1-215	この本は、ある一人の営農指導者を中心とした、徳島の小さな町の成功の系譜です。 町が小さな成功を積み立てていく様子を、わかりやすく描いてあります。 いわゆる「成功本」の一種で、内容は薄いですが、要点が明確に書かれていて秀逸です。 村が成功を積み重ねていくさまは、読んでいて爽快な気持ちになれます。 町の成功は大きくわけて、 ビジネスモデルの確立。 お年寄り・女性を中心とした町の活性化。 の2つであると思います。
2008/04/25 00:51:35	215P (120分)	ビジネスモデルが気になる人は130-139、170-180を、過疎化した町の活性化が気になる人は8章を読めばよいと考えます。 ただ、先にも書いたとおり薄い本なので、個人的には、サラッと通し読みが一番おすすめです。
	170-180、8章	

[TOPへ](#)

湿地転生の記風景学の挑戦

著者名	中村良夫	発行年	2007年
出版社名	岩波書店	ページ数	248ページ
値段	2,500円	ISDN	978-4000234320

「都市のこの記憶喪失ぶりはほとんど狂気といえる」——現状への憤懣をぶつけつつ、おのが実践の足跡を熱く語る。風景学の先駆者にして社会工学科の大先輩の言、心して聞くべし。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
ポンプUno	237-249	時間がないので「ラスト読めば言いたいことわかるだろう」と思って最後から読み始めたのが間違いだった。
2008/08/17 01:09:01	13P (20分)	「日本は戦後発展してきたが、心の豊かさを得られなかった」みたいなことを言われても全く共感できないのは僕が荒んだ風土のなかで心の豊かさというものを享受せずに育ったからなのか。
		はじめから順に筆者の言葉に付き合っていけば、納得できるのかもしれない。 機会があったらちゃんと読んでみます。

のり子	148-249	作り手の意図、設計の理論を知らなくても、造形物に接することはできてしまうから、作ったモノの説明を聞くと、何を言われても、作り手のひとりよがり聞こえてしまうのですね。。。かと言って、「何の考えも無く、なんとなく作りました。」と言われても、納得（感心？）できないし。
2008/07/15 14:49:41	102P (100分)	
つばき	1-68	前半の本人の体験談は眠いです。
2008/05/20 12:05:07	68P (45分)	
ミソカツ	1-14ページ、237-252ページ	冒頭の数ページを読んだだけで筆者の土地に対する「熱」が伝わってきた。 この本は全部読まなければいけない本だと思った。 しかし自分には時間がなかった。 この思いを次の読者に託したいです。
2008/05/09 20:36:49	30P (30分)	
	1-14ページ	